

JSCR Newsletter



日本糖質学会会報
JSCR Newsletter published by
The Japanese Society of Carbohydrate Research

第 44 回日本糖質学会年会の開催にあたって

第44回日本糖質学会年会

世話人会代表 弘前大学/青森県病院事業管理者 大山 力

第 44 回日本糖質学会年会の開催にあたり、御礼とご挨拶を申し上げます。今回のテーマを「糖質科学と臨床医学の融合」とさせて頂き、異なる領域で研究活動を展開している研究者の皆様が一堂に会して、交流を深めて頂きたいという思いで学術集会の準備を進めさせて頂きました。

お陰様でこの度の年会では、一般演題（口頭/ポスター）213 演題をご登録頂きました。また、指定演題（特別講演/ダイバーシティ推進セミナー/追悼企画/シンポジウム）として 13 演題、計 226 演題のご登録を頂きました。さらに、ランチョンセミナー8 演題、奨励賞受賞講演 6 演題、優秀講演賞第 2 次審査講演 7 演題と多くの発表が予定されております。内容も大変充実しておりますので、ご期待頂きたいと思います。

昨今、我が国の経済動向には厳しいものがございます。病院経営もこれまでにない苦境に立たされておられまして、学術集会を企画する上で費用面での問題に直面致しました。そのような厳しい局面におきましても、ランチョンセミナー、ブース展示や広告掲載をして頂いた企業各社、さらに多くの団体から多大なるご支援を頂きました。ご協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

10 月初旬の津軽路は、気候も良く、実りの秋を迎えて食材も豊富でございます。活発な学術討論の後には、ぜひ、津軽、青森の旬を満喫して頂きたいと思います。エクスカージョン、会員懇親会と地元の個性を十分に感じ、リフレッシュして頂けるように真心を込めて企画させて頂きました。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

第 44 回日本糖質学会年会（弘前）

- 主 催 日本糖質学会
- 共 催 公益財団法人鷹揚郷腎研究所、シクロデキストリン学会
日本応用糖質科学会、日本化学会、日本キチン・キトサン学会
日本生化学会、日本薬学会、弘前大学
- 協 賛 高分子学会、繊維学会、公益財団法人野口研究所、有機合成化学協会
- 後 援 日本癌学会、日本癌治療学会、日本ケミカルバイオロジー学会
日本農芸化学会、日本泌尿器科学会
- 会 期 2025 年 10 月 2 日（木）～ 10 月 4 日（土）
- 会 場 弘前文化センター
〒036-8356 青森県弘前市下白銀町 19-4
弘南鉄道大鰐線「中央弘前駅」下車 徒歩 11 分
JR 奥羽本線「弘前駅」下車 徒歩 19 分
- 参 加 費 日本糖質学会名誉会員：無 料
日本糖質学会永年会員：3,500 円 (4,500 円) * 75 歳以上の永年会員は参加費免除
日本糖質学会正会員：7,000 円 (9,000 円)
日本糖質学会学生会員：2,000 円 (4,000 円)
非会員（一般）：10,000 円 (12,000 円)
非会員（学生）：3,500 円 (4,000 円)
日本糖質学会維持会員法人：2 名まで無料
※カッコ内は 2025 年 8 月 1 日以降の参加登録料です。
※共催・協賛・後援学会の会員は日本糖質学会会員と同額の参加登録料です。
- 評議員会 2025 年 10 月 2 日（木）16:45～18:15 小ホール（B 会場）
- 総 会 2025 年 10 月 3 日（金）9:20～10:10 大ホール（A 会場）
- 懇 親 会 2025 年 10 月 3 日（金）18:00～ フォルトーナ（青森県弘前市和徳町 140）

会場へのアクセス

【会場】弘前文化センター

〒036-8356 青森県弘前市下白銀町 19-4



【交通アクセス】

弘南鉄道大鰐線「中央弘前駅」下車 徒歩 11分

JR 奥羽本線「弘前駅」下車 徒歩 19分

●弘前駅からのバスを利用する場合 (Suica 等利用可)

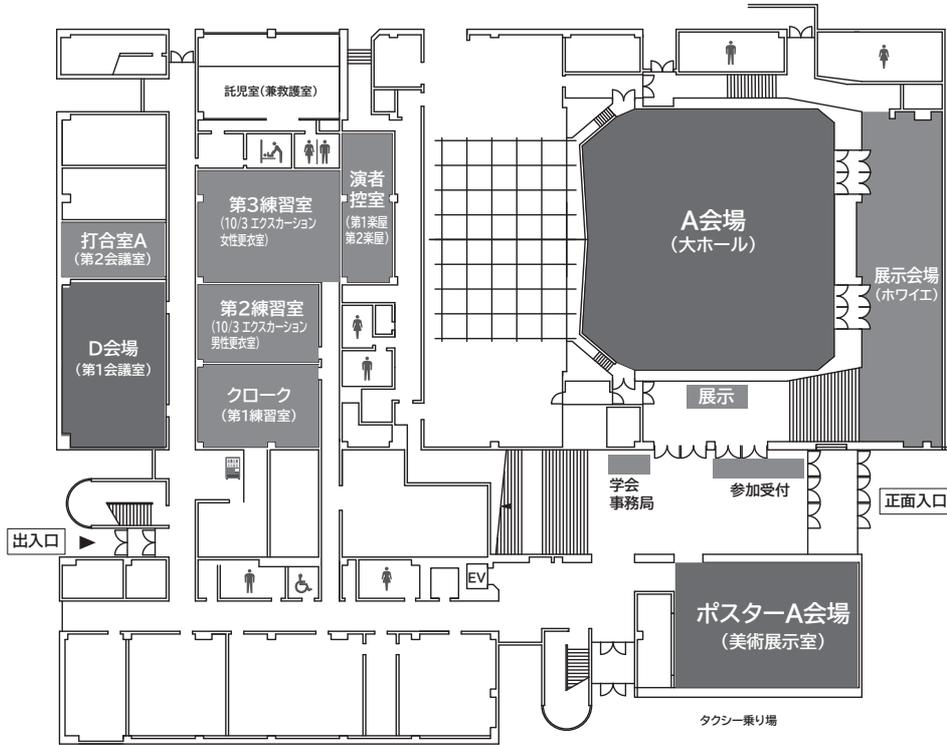
「弘南バス・土手町」循環 150円バスまたは浜の町 方面行 (駅前7番乗場)

「文化センター前」下車

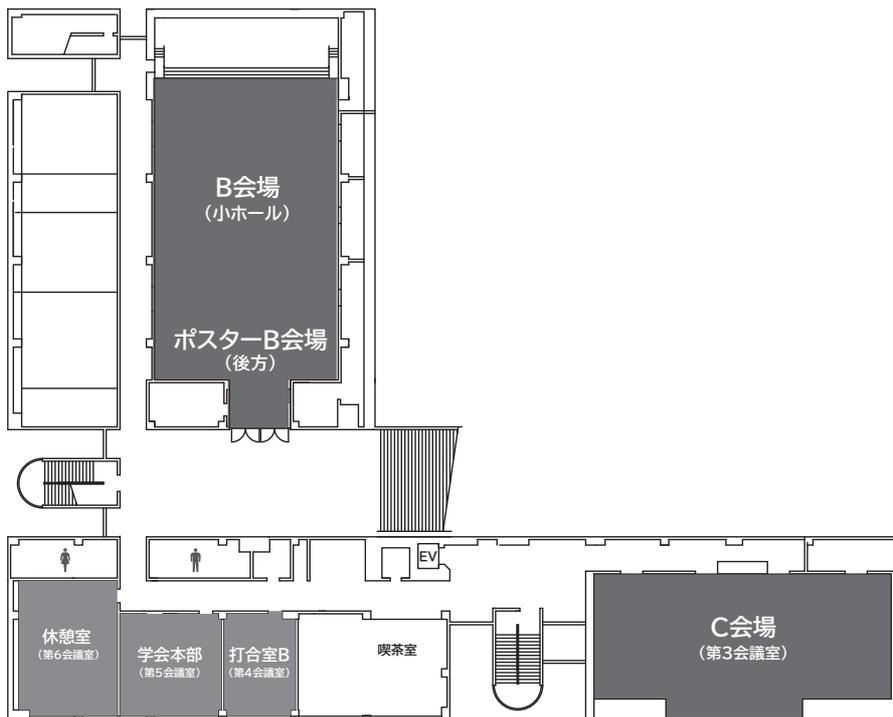
会場案内

弘前文化センター

1F



2F



参加者へのご案内

(1) 開催形式・開催日時

開催形式：現地開催 *ライブ配信・オンデマンド配信はありません

開催日時：10月2日(木) 9:20～16:40

10月3日(金) 9:20～12:40 * 12:50～17:30 エクスカーション

10月4日(土) 9:20～16:05

(2) 参加費

日本糖質学会名誉会員：無料

日本糖質学会永年会員：3,500円(4,500円) * 75歳以上の永年会員は参加費免除

日本糖質学会正会員：7,000円(9,000円)

日本糖質学会学生会員：2,000円(4,000円)

非会員(一般)：10,000円(12,000円)

非会員(学生)：3,500円(4,000円)

日本糖質学会維持会員法人：2名まで無料

※カッコ内は2025年8月1日以降の参加登録料です。

※共催・協賛・後援学会の会員は日本糖質学会会員と同額の参加登録料です。

(3) 参加登録

① Payventでの受付期間：6月2日(月)～9月23日(火・祝) 23:59

② Googleフォームでの受付期間：9月24日(水)以降

※9月24日(水)以降の参加登録は登録のみ受付いたします。参加費は当日現金でお支払いください。

※Payventはオンラインで参加申込・決済を行うシステムです。

※Googleフォームからのご登録は当日現金でのみ受付いたします。当日クレジットカード払いはできませんのでご了承ください。

●登録完了・領収書・参加証明書

参加登録・お支払い完了後、Payventから届く自動返信メールにボタンが「領収書発行」「参加証明書」が表示されますので、ご自身でダウンロード・印刷をしてください。

なお、参加証明書は年会終了後にダウンロード可能になります。

●参加証(ネームカード)

参加証(ネームカード)は、現地参加受付でお渡しいたします。

●キャンセルポリシー

原則、参加登録費支払完了後のキャンセルはできません。二重登録等にご注意ください。
お預かりしました参加費は、やむを得ない事情により年会在開催中止となる場合を除いて返金はいたしませんので、予めご了承ください。

(4) 当日の参加登録・受付

当日は、現金で受付いたします。

●受付場所：弘前文化センター 1 階ロビー

●受付時間：10月2日（木）9:00～16:30

10月3日（金）9:00～12:40

10月4日（土）9:00～16:05

※開場は9:00～です。早くお越しいただいてもご入場いただけませんのでご注意ください。

●ご来場にあたりまして

- ・会期1週間程度前に別途、当日の受付ご案内メールをお送りいたします。当日はそちらのメールを印刷したもの、または、スマートフォン画面をご呈示ください。
- ・ご来場には公共交通機関をご利用ください。
- ・当日、発熱・感冒症状などで体調が優れない場合は、来場をお控えください。
- ・A会場（1F 大ホール）は一切の飲食禁止です。ご協力をお願いいたします。
- ・クロークは1階 第1練習室に設置する予定です。

貴重品はお預かりできません。

場所：弘前文化センター 1 階第1練習室

時間：10月2日（木）9:00～17:00

10月3日（金）9:00～13:50

10月4日（土）9:00～16:20

懇親会

【会 場】 フォルトーナ

住所：〒036-8021 青森県弘前市和徳町 140

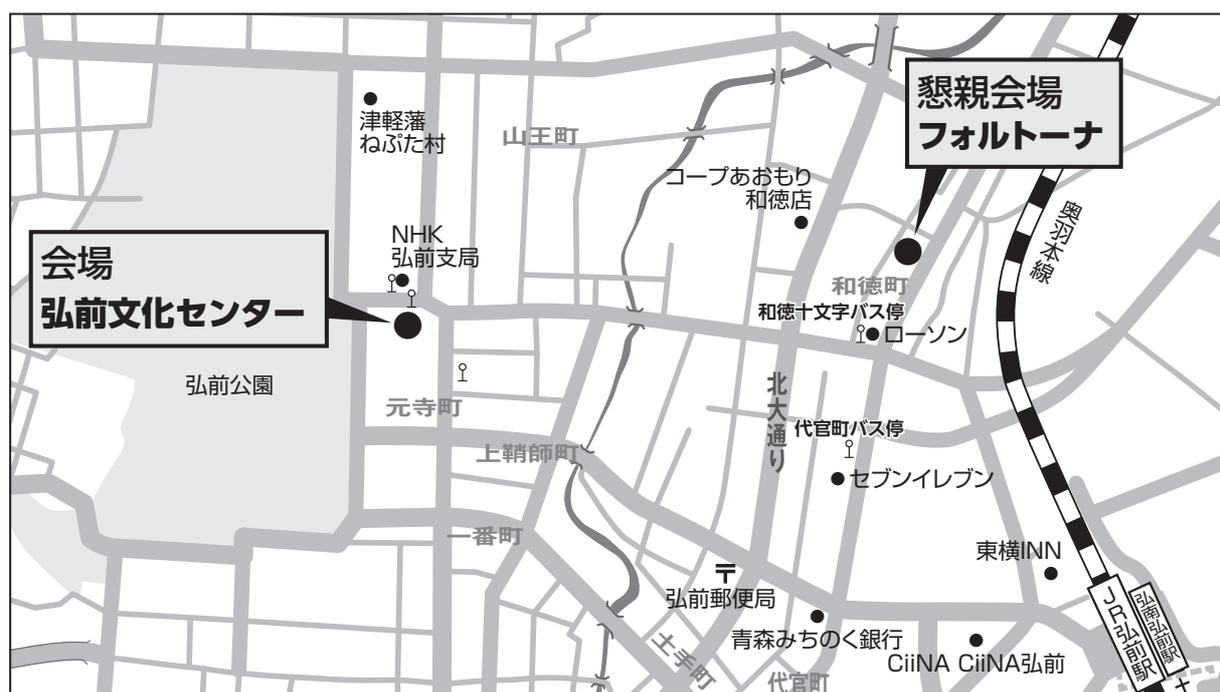
【日 時】 2025年10月3日（金）18:00～

【参 加 費】 参加費：正会員・非会員 7,000円

学生 2,000円

【アクセス】

- 直接会場にお越しになれる方は公共交通機関等をご利用のうえ、ご自身で会場までお越しください。徒歩では、JR弘前駅または大鰐線・中央弘前駅から約20分です。
- バスを利用の場合はJR弘前駅から各系統より「和徳十文字」または「代官町」下車 徒歩4～7分
 - ・「92系統 黒石駅行」弘前駅 17:16 発「代官町」下車
 - ・「70系統・浪岡行」弘前駅 17:26 発「代官町」下車
 - ・「50系統・五所川原エルム行」弘前駅 17:31 発「和徳十文字」下車
- エクスカーション後に懇親会に参加される方は、エクスカーションのバスで懇親会会場までお送りします。
- 懇親会終了後は、無料送迎バスにて弘前駅、主要ホテルへお送りする予定です。



□頭発表者の方へ

発表時間

- ・ □頭発表 A : 25 分 (講演 20 分、質疑 5 分程度)
- ・ □頭発表 B : 15 分 (講演 12 分、質疑 3 分程度)

発表形式

- ・ 発表は Power Point などによる PC プレゼンテーションです。
- ・ 発表者ご自身のパソコンをご持参のうえ、会場に設置されたプロジェクターに接続して映写していただきます。操作はご自身でお願いいたします。
 - (1) HDMI 端子にて会場のプロジェクターと接続できます。
- ・ これ以外の接続端子のパソコンを使われる方はご自身で変換アダプターをご用意ください。
- ・ 電源アダプターもご持参ください。
 - (2) パソコン設定は以下の点にご注意ください。
- ・ スクリーンセーバーならびに省電力設定 (スリープ、ディスプレイ電源オフなど) は事前に解除してください。
- ・ バッテリーは十分な充電をお願いします。

発表者の受付および試写

- ・ 事前に試写をご希望される方は、お早めに会場係までお声がけください。
- ・ 前の講演者の発表が始まりましたら会場内の次演者席での待機をお願いします。
- ・ 発表終了後は、ご自身の PC、AC アダプターなど忘れずにお持ち帰りください。
- ・ ご持参の PC に異常が生じた場合に備えて、発表用ファイルをコピーした USB メモリーなどをご持参ください。問題が生じた場合は、お早めに会場係までご連絡ください。

ポスター発表者の方へ

ポスター会場：ポスター A 会場（美術展示室）、ポスター B 会場（小ホール後方）

- 討論時間：・ポスター発表者は、討論時間前までにポスターの貼付をお願いします。
 ・討論時間帯はご自身のポスター前に待機し、発表・討論を行ってください。

| | グループ 1 | グループ 2 |
|--------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 討論日時 | 10月3日（金） 10:15～11:45 | 10月4日（土） 9:20～10:50 |
| ポスター A 会場 （1F 美術展示室） | PA-01～PA-39 | PA-40～PA-76 |
| ポスター B 会場 （2F 小ホール後方） | PE-01～PE-07 PG-01～PG-28 | PE-08～PE-11 PG-29～PG57 |

- 掲示期間：・指定されたポスター番号のボードに掲示してください。
 ・小ホールは口演発表会場としても使用します。口演発表中の貼付の際は作業音などご配慮ください。
 ・グループ 2 の掲示時間は 10 月 4 日（土）9:00～9:20 と短くなっております。ご了承のうえご準備ください。

| | グループ 1 (PA-01～PA-39、PE-01～PE-07、 PG-01～PG-28) | グループ 2 (PA-40～PA-76、PE-08～PE-11、 PG-29～PG57) |
|------|---|--|
| 掲示期間 | 10月2日（木）9:00～16:40 10月3日（金）9:00～11:45 | 10月4日（土）9:00～10:50 |

撤去期間：・10月3日（金）のグループ1のポスター撤去時間終了後に各会場を閉める予定です。グループ2のポスター発表の方は、10月4日（土）9:00～ポスター貼付をお願いします。

・残っているポスターは撤去後年会事務局にて処分いたします。

| | グループ1 (PA-01～PA-39、PE-01～PE-07、 PG-01～PG-28) | グループ2 (PA-40～PA-76、PE-08～PE-11、 PG-29～PG57) |
|------|--|---|
| 撤去時間 | 10月3日（金）11:45～12:50 | 10月4日（土）10:50～12:05 |

- 1) 演題番号は年会事務局で用意します。
- 2) 演題名、演題者名（発表者に○印）、所属を含めたポスターをご用意ください。
- 3) 年会事務局にて準備した画鋏または両面テープを使って掲示してください。
- 4) 演者リボンをつけて発表してください。
- 5) ポスターボードサイズは下記の通りです。
（幅 120cm × 高さ 180cm、A0 版推奨）
- 6) 日本糖質学会ポスター賞審査対象のポスターは PA-XX、The Carbohydrate Research JSCR44 Poster Award 審査対象のポスターは PE-XX です。
- 7) ポスターボードは転倒の危険性がありますので、くれぐれもご注意ください。

託児所について

託児室をご用意いたします。

ご利用をご希望の方は下記弘前文化センターまでお電話でご連絡ください。

なお、弘前文化センターホームページに託児室の詳細がございます。

- ・ 託児時間は 9 ～ 17 時までです。
※時間は毎時 0 分からの 1 時間単位でお願いします。
- ・ おおむね 3 歳以上～未就学児
- ・ おひとり様 1 時間につき 110 円（税込）
※お申し込みには限りがあり、お申し込み数によっては一部お受けできない場合がございます。
- ・ 飲み物、おやつは各自でご用意ください。必要に応じて、着替え、おむつ等をご用意ください。

- ・ 託児室利用日
- ・ 託児室利用時間（何時から何時まで）
- ・ お子様のお名前、年齢、性別、人数

をお知らせ願います。申込締切は 9 月 12 日（金）です。

ご不明な点がございましたらご連絡ください。

▼弘前文化センター

電話番号：0172-33-6571

営業時間：9 時から 17 時（休館日：毎月第 3 火曜日）

10 月 2 日より開催の第 44 回日本糖質学会の件で託児室を利用したい旨をお申し出ください。

第44回日本糖質学会年会 開催支援団体

< 賛助・協賛・協力団体 >

- 合同会社 KEISO
- 糖鎖生命コア研究所
- 東北化学薬品株式会社
- 日本ウォーターシステム株式会社
- 公益財団法人野口研究所
- 株式会社フィラピーメディカルジャパン
- 公益財団法人水谷糖質科学振興財団
- 株式会社ルミネックス・ジャパン

< 広告掲載団体 >

- 合同会社エムック
- 株式会社カネカメディックス
- 東ソー株式会社
- 東京化成工業株式会社
- 株式会社糖鎖工学研究所・KH ネオケム株式会社
- 東北アルフレッサ株式会社
- 日機装株式会社
- バイエル薬品株式会社
- 株式会社バイタルネット
- 富士フィルム和光純薬株式会社
- 扶桑薬品工業株式会社
- メルクバイオファーマ株式会社
- ヤンセンファーマ株式会社

< バナー広告掲載団体 >

- 生化学工業株式会社
- ニットーポーメディカル株式会社

- ニプロ株式会社
- 株式会社北斗医理科

< 展示団体 >

- 一般社団法人あおもり PG 推進協議会
- アドビオン・インターチム・サイエンティフィック株式会社
- 株式会社角弘プロテオグリカン研究所
- 株式会社島津製作所
- 住友ベークライト株式会社
- 東京化成工業株式会社
- 株式会社糖鎖工学研究所・KH ネオケム株式会社
- 糖鎖生命コア研究所
- 株式会社ナード研究所
- 美容室 ONE hair
- 富士シリシア化学株式会社

< ランチョンセミナー団体 >

- アステラス製薬株式会社
- 栄研化学株式会社・株式会社糖鎖工学研究所
- 協和キリン株式会社
- 国立研究開発法人産業技術総合研究所
- ブルカー・ジャパン株式会社
- 株式会社北斗医理科・H&H medical informatics 株式会社

(五十音順)

第 44 回日本糖質学会年会 組織委員

(五十音順)

世話人

今井 篤 (弘前大・医)、岡本 哲平 (弘前大・医)、大山 力 (弘前大・医)、柿崎 育子 (弘前大・医)、坪井 滋 (鷹揚郷腎研究所)、成田 拓磨 (弘前大・医)、橋本 勝 (弘前大・農生)、畠山 真吾 (弘前大・医)、濱田 茂樹 (弘前大・農生)、藤田 尚紀 (弘前大・医)、盛 和行 (弘前大・医)、山本 勇人 (弘前大・医)、米山 徹 (弘前大・医)

Advisory Board

赤間 智也 (関西医大・薬)、安形 清彦 (創価大・糖鎖生命)、安藤 弘宗 (岐阜大・糖鎖生命コア)、井ノ口 仁一 (阪大・理)、小川 智久 (東北大・農)、川島 博人 (千葉大・薬)、北爪 しのぶ (福島県医大・保)、顧 建国 (東北医薬大・分子生体膜)、小林 基弘 (福井大・医)、戸嶋 一敦 (慶大・理工)、飛澤 悠葵 (岐阜大・医)、中山 淳 (信州大・医)、長束 俊治 (新潟大・理)、野中 元裕 (京大・医)、細野 雅祐 (東北医薬大・分子生体膜)、松尾 一郎 (群馬大・理工)、三善 英知 (阪大・保)

世話人代表： 大山 力

世話人副代表： 畠山 真吾

事務局

弘前大学大学院医学研究科泌尿器科学講座

〒 036-8562 弘前市在府町 5

第 44 回日本糖質学会年会事務局 (担当：盛 和行)

E-mail: moribio@hirosaki-u.ac.jp

次年度 第 45 回日本糖質学会年会のお知らせ

会 期：令和 8 年 (2026 年) 9 月 14 日 (月) ~ 16 日 (水)

会 場：九州大学医学部百年記念講堂

世話人代表：竹川 薫 (九州大学)

日程表

第1日 10月2日(木)

| | 1F 大ホール A会場 | 2F 小ホール B会場 | 2F 第3会議室 C会場 | 1F 第1会議室 D会場 | 1F 美術展示室 ポスターA会場 | 2F 小ホール(後方) ポスターB会場 | ホワイエ 企業展示 | |
|-------|---|---|--|---|-------------------------------|-------------------------------|---------------------|--|
| 9:00 | 9:00～開場・参加受付 9:20-9:25 開会挨拶 | | | | | | | |
| 9:30 | 9:25-11:55 優秀講演賞 第2次審査 | 9:25-11:30 □頭発表1 1B-01A～ 1B-07B | 9:25-11:55 □頭発表2 1C-01A～ 1C-08B | 9:25-11:55 □頭発表3 1D-01A～ 1D-08B | 9:00-16:40 ポスター掲示 グループ1 | 9:00-16:40 ポスター掲示 グループ1 | | |
| 10:00 | | | | | | | | |
| 10:30 | | | | | | | | |
| 11:00 | | | | | | | | |
| 11:30 | | | | | | | | |
| 12:00 | | 11:55-12:45 ランチョンセミナー ベーシックA 共催：プルカージャ パン株式会社 | 11:55-12:45 ランチョンセミナー ベーシックB 共催：株式会社北斗医理科・ H&H medical informatics 株式会社 | | | | | |
| 12:30 | | | | | | | | |
| 13:00 | 12:50-13:40 特別講演 演者：Yu Yamaguchi | | | | | | | |
| 13:30 | 13:40-14:40 ダイバーシティ推進 セミナー 「弘前大学における 男女共同参画・ダイ バーシティの歩み」 | | | | | | | |
| 14:00 | | | | | | | | |
| 14:30 | | | | | | | | |
| 15:00 | 14:40-16:40 追悼企画 「遠藤玉夫先生 と歩んだ糖質 研究の軌道と 未来への 展望」 | 14:40-16:40 □頭発表4 1B-08A～ 1B-13B | 14:40-16:35 □頭発表5 1C-09A～ 1C-15B | 14:40-16:20 □頭発表6 1D-09A～ 1D-12A | | | 12:50-16:45 企業展示 | |
| 15:30 | | | | | | | | |
| 16:00 | | | | | | | | |
| 16:30 | | | | | | | | |
| 17:00 | | | | | | | | |
| 17:30 | | 16:45-18:15 評議員会 | | | | | | |
| 18:00 | | | | | | | | |
| 18:30 | | | | | | | | |
| 19:00 | | | | | | | | |

日程表

第2日 10月3日(金)

| | 1F 大ホール A会場 | 2F 小ホール B会場 | 2F 第3会議室 C会場 | 1F 第1会議室 D会場 | 1F 美術展示室 ポスターA会場 | 2F 小ホール(後方) ポスターB会場 | ホワイエ 企業展示 |
|-------|----------------------------|----------------|---|--|---|--|--------------------|
| 9:00 | 9:00～開場・参加受付 | | | | | | |
| 9:30 | 9:20-10:10 総会 | | | | | | 9:20-12:50 企業展示 |
| 10:00 | | | | | | | |
| 10:30 | | | | | 10:15-11:45 ポスター討論 グループ1 PA-01～ PA-39 | 10:15-11:45 ポスター討論 グループ1 PE-01～PE-07 PG-01～ PG-28 | |
| 11:00 | | | | | | | |
| 11:30 | | | | | | | |
| 12:00 | | | 11:50-12:40 ランチョンセミナー ベーシックA 共催：栄研化学株式会社・ 株式会社糖鎖工学研究所 | 11:50-12:40 ランチョンセミナー ベーシックB 共催：協和キリン 株式会社 | 11:45-12:50 ポスター撤去 グループ1 | 11:45-12:50 ポスター撤去 グループ1 | |
| 12:30 | | | | | | | |
| 13:00 | エクスカーションご参加の方は集合場所へご移動ください | | | | | | |
| 13:30 | エクスカーション開始後に各会場を閉める予定です | | | | | | |
| 14:00 | エクスカーション | | | | | | |
| 14:30 | | | | | | | |
| 15:00 | | | | | | | |
| 15:30 | | | | | | | |
| 16:00 | | | | | | | |
| 16:30 | | | | | | | |
| 17:00 | | | | | | | |
| 17:30 | | | | | | | |
| 18:00 | | | | | | | |
| 18:30 | 懇親会 (フォルトーナ) | | | | | | |
| 19:00 | | | | | | | |
| 20:00 | | | | | | | |

日程表

第3日 10月4日(土)

| | 1F 大ホール A会場 | 2F 小ホール B会場 | 2F 第3会議室 C会場 | 1F 第1会議室 D会場 | 1F 美術展示室 ポスターA会場 | 2F 小ホール(後方) ポスターB会場 | ホワイエ 企業展示 |
|-------|---|---|---|--|--|--|--------------------|
| 9:00 | 9:00～開場・参加受付 | | | | | | |
| 9:30 | | | | | 9:20-10:50 ポスター討論 グループ2 PA-40～ PA-76 | 9:20-10:50 ポスター討論 グループ2 PE-08～ PE-11 PG-29～ PG57 | 9:20-15:00 企業展示 |
| 10:00 | | | | | | | |
| 10:30 | | | | | | | |
| 11:00 | 10:50-12:05 奨励賞受賞 講演 | | | | 10:50-12:05 ポスター撤去 グループ2 | 10:50-12:05 ポスター撤去 グループ2 | |
| 11:30 | | | | | | | |
| 12:00 | | | | | | | |
| 12:30 | | 12:05-13:05 ランチョンセミナー クリニカル 共催:アステラス製薬 株式会社 | | 12:05-13:05 ランチョンセミナー ベーシックB 共催:産業技術総合 研究所 | | | |
| 13:00 | | | | | | | |
| 13:30 | 13:05-15:35 シンポジウム Clinical Glycobiology: 現状と展望 | 13:05-15:15 □頭発表 7 3B-01B～ 3B-08B | 13:05-14:20 □頭発表 8 3C-01B～ 3C-05B | 13:05-15:10 □頭発表 9 3D-01A～ 3D-07B | | | |
| 14:00 | | | 14:20-15:50 □頭発表 11 3C-06B～ 3C-09A | | | | |
| 14:30 | | 15:15-16:00 □頭発表 10 3B-09B～ 3B-11B | | 15:10-16:00 □頭発表 12 3D-08A～ 3D-09A | | | |
| 15:00 | | | | | | | |
| 15:30 | | | | | | | |
| 16:00 | 16:00-16:05 閉会挨拶 | | | | | | |
| 16:30 | | | | | | | |
| 17:00 | | | | | | | |
| 17:30 | | | | | | | |
| 18:00 | | | | | | | |
| 18:30 | | | | | | | |
| 19:00 | | | | | | | |

プログラム

開会のあいさつ 10月2日(木)

A会場(1F 大ホール) 9:20

閉会のあいさつ 10月4日(土)

A会場(1F 大ホール) 16:00

特別講演 10月2日
A会場（大ホール）12:50-13:40

座長：大山 力（弘前大学 / 青森県病院事業管理者）

- 12:50 1A-S1 **プロテオグリカンとヒアルロン酸のバイオロジー：成果と問題点**
Yu Yamaguchi
(Sanford Burnham Prebys Medical Discovery Institute)

ダイバーシティ推進セミナー 10月2日
A会場（大ホール）13:40-14:40

座長：柿崎 育子（弘前大学）

- 13:40 1A-G1 **弘前大学における男女共同参画・ダイバーシティの歩み**
橋本 恭男
(弘前大学・理事（社会連携担当）)

追悼企画 10月2日

遠藤玉夫先生と歩んだ糖質研究の軌道と未来への展望

A会場（大ホール）14:40-16:40

オーガナイザー：金川 基（愛媛大学）

萬谷 博（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター）

14:40 企画説明

萬谷 博

14:45 1A-SP1 遠藤先生から学んだ研究の視点 ～糖アルコールリン酸研究を通して～
今江 理恵子

（東京都健康長寿医療センター・老化機構研究チーム 分子機構）

15:00 1A-SP2 遠藤先生ありがとうございました ～糖鎖合成屋のひとりごと～
田村 純一

（鳥取大学・農学部）

15:15 1A-SP3 遠藤先生と共に在った場所 ～ α -ジストログリカノパチー研究と O-Man
ペプチド /CDP-Rbo の合成～

水野 真盛

（公益財団法人野口研究所・研究企画管理グループ）

15:30 1A-SP4 糖鎖から読み解く健康長寿の科学～遠藤先生の思い出
三浦 ゆり

（東京都健康長寿医療センター研究所・老化機構研究チーム）

15:45 1A-SP5 遠藤先生との出会いと思い出と筋ジストロフィー
戸田 達史

（国立精神・神経医療研究センター病院）

16:05 そして未来へ

金川 基、萬谷 博

シンポジウム 10月4日
Clinical Glycobiology: 現状と展望
A会場 (大ホール) 13:05-15:35

座長：中山 淳 (信州大学 / 北アルプス医療センターあづみ病院)

三善 英知 (阪大院・医・生体病態情報科学)

- 13:05 3A-SY1 前立腺癌の糖鎖バイオマーカー S2,3PSA% 検査の開発から臨床実装
米山 徹
(弘前大学 大学院医学研究科 糖鎖工学講座)
- 13:30 3A-SY2 ヒアルロン酸分解酵素 TMEM2 による NK 細胞免疫シナプス制御と腫瘍
免疫活性化機構
飛澤 悠葵
(岐阜大学医学部附属病院泌尿器科)
- 13:55 3A-SY3 新規抗ケラタン硫酸抗体の病理診断への応用
小林 基弘
(福井大学医学部病理学講座)
- 14:20 3A-SY4 免疫関連疾患治療効果を示す抗糖鎖モノクローナル抗体の開発
川島 博人
(千葉大学大学院薬学研究院)
- 14:45 3A-SY5 糖鎖に着目したグリオーマ診断薬の実用化に向けた研究
北爪 しのぶ
(福島医大院・保健・臨床検査学科)
- 15:10 3A-SY6 糖鎖修飾技術を応用した新規がん治療の可能性
樺山 一哉
(大阪大学 放射線科学基盤機構)

奨励賞受賞講演 10月4日

A会場（大ホール）10:50-12:05

座長：安藤 弘宗（岐阜大学）、鈴木 匡（理化学研究所）、藤本 ゆかり（慶應義塾大学）

10:50 3A-P1 糖鎖との相互作用に着目したウイルス感染機構の解析と制御技術の開発

紅林 佑希

（静岡県立大学薬学部 生化学分野）

11:15 3A-P2 シアル酸含有糖鎖の化学合成研究と細胞膜のケミカルバイオロジー研究への応用

河村 奈緒子

（岐阜大学糖鎖生命コア研究所）

11:40 3A-P3 糖鎖および糖タンパク質の精密半合成

真木 勇太

（大阪大学大学院理学研究科化学専攻 / 大阪大学大学院理学研究科フォアフロント研究センター）

優秀講演賞第2次審査 10月2日

A会場（大ホール）9:25-11:55

座長：安藤 弘宗（岐阜大学）、鈴木 匡（理化学研究所）、藤本 ゆかり（慶應義塾大学）

9:25 1A-E1 Late-stage ホウ素媒介アグリコン転移反応を用いたNTM症に対する新規治療薬リードの創出

○磯崎 友花¹、牧川 拓¹、木村 公亮¹、西原 大貴²、藤野 真帆²、田中 良和²、林 千草³、石崎 仁将³、五十嵐 雅之³、横山 武司²、戸嶋 一敦¹、高橋 大介¹
（¹慶大・理工、²東北大院・生命、³微生物化学研究所）

- 9:46 1A-E2 グルコース-ピレンで構成される自己組織化マイクロファイバーの形成
 ○廣瀬 光了¹、田代 啓悟²、田島 直也¹、杉浦 楓太²、下田 周平³、河野 芳海²、
 富田 靖正²、戸谷 希一郎¹
 (¹ 成蹊大理工、² 静岡大院・統合科学技術、³ 北海道大・触媒科学)
- 10:07 1A-E3 魚卵レクチン CSL2 は糖脂質 Gb3 を介してアミロイド前駆体タンパク質を
 リソソームへ局在誘導する
 ○王 正光¹、後藤 楓²、次田 篤史²、楊 芷菡¹、Daoudi Khadija¹、
 日高 將文¹、横山 武司²、二井 勇人¹、田中 良和²、小川 智久¹
 (¹ 東北大院・農学・農芸化学、² 東北大院・生命・分子化学生物)
- 10:28 1A-E4 糖転移酵素 GnT-V の糖タンパク質基質選択性の解析
 ○大須賀 玲奈¹、長江 雅倫²、中の 三弥子³、谷川 俊祐⁴、小野 和也³、
 辻 雄大⁵、伊藤 辰将⁵、高橋 和男⁵、西中村 隆一⁴、木塚 康彦^{1,6}
 (¹ 岐阜大大学院 連合農学研究科、² 大阪大学 微生物病研究所、
³ 広島大学大学院 統合生命科学研究科、⁴ 熊本大学 発生医学研究所、
⁵ 藤田医科大 医学部、⁶ 岐阜大学 糖鎖生命コア研究所)
- 10:49 1A-E5 ポドサイトにおけるシアル化 O 型糖鎖修飾異常が引き起こす FSGS 様腎障
 害の機構解明
 ○布施谷 清香^{1,2}、和泉 裕之¹、村上 由佳¹、清家 由友乃¹、富岡 あづさ²、
 坂上 弘明²、佐藤 隆²、久野 敦²、高橋 智¹、工藤 崇¹
 (¹ 筑波大・医学医療・解剖発生、² 産総研・細胞分子工学・分子細胞マルチ)
- 11:10 1A-E6 ゼブラフィッシュ受精卵における遊離糖鎖生成を担う新奇 N-グリカナー
 ゼ:Ngly2
 ○本田 晃伸¹、鈴木 匡¹
 (¹ 理研・鈴木糖鎖代謝生化学)
- 11:31 1A-E7 アブラナ科植物スフィンゴ脂質 GIPC のイノシトールグリカン頭部の化学合
 成と構造決定
 ○梅村 悠太¹、Islam Majidul²、Yesmin Hasi Rumana²、石川 寿樹³、
 長野 稔⁴、岡 拓二⁵、宇田川 太郎⁶、河村 奈緒子⁷、今村 彰宏^{1,7,8}、石田 秀治^{1,7,8}
 (¹ 岐阜大院・連合農学、² 徳島大・生物資源、³ 埼玉大院・理工、
⁴ 立命館大・生命科学、⁵ 崇城大・生物生命、⁶ 岐阜大・工、
⁷ 岐阜大・iGCORE、⁸ 岐阜大・応用生物)

ランチョンセミナー ベーシック A 10月2日

C会場 (第3会議室) 11:55-12:45

ブルカージャパン株式会社

11:55 1C-L1 様々な複合糖質の糖鎖解析

古川 潤一

(名古屋大学糖鎖生命コア研究所 推理解析部門 糖鎖ビッグデータセンター)

ランチョンセミナー ベーシック B 10月2日

D会場 (第1会議室) 11:55-12:45

株式会社北斗医理科・H&H medical informatics 株式会社

11:55 1D-L1 糖鎖研究歴を持つ医師がたどりついた起業への道

— 裏表のないスマートウェアが拓く、ヘルスケアの新展開 —

濱野 逸人

(HONESTIES 株式会社 CFO/CRO)

ランチョンセミナー ベーシック A 10月3日

C会場 (第3会議室) 11:50-12:40

栄研化学株式会社・株式会社糖鎖工学研究所

11:50 2C-L1 臨床検査薬と糖鎖工学 ～ N型糖鎖ほぼ全種対応大量切断技術～

牧之段 満

(栄研化学(株)新規事業企画部)

ランチョンセミナー ベーシック B 10月3日

D会場（第1会議室） 11:50-12:40

協和キリン株式会社

- 11:50 2D-L1 **ポテリジェント技術、協和キリンの抗体医薬研究開発の取り組み**
宇佐美 克明
(協和キリン株式会社 研究本部・イノベーションセンター)

ランチョンセミナー クリニカル 10月4日

B会場（小ホール） 12:05-13:05

アステラス製薬株式会社

- 12:05 3B-L1 **コア型フコシル化タンパクによる前立腺癌バイオマーカーの開発と進行性前立腺癌の治療戦略**
藤田 和利
(近畿大学医学部 泌尿器科学教室 主任教授)
- 12:35 3B-L2 **MHC イムノペプチド解析が明らかにしたがん抗原の正体とがん免疫療法への応用**
鳥越 俊彦
(札幌医科大学 名誉教授
札幌臨床検査センター 先端的検査医学研究センター長)

ランチョンセミナー ベーシック B 10月4日

D会場 (第1会議室) 12:05-13:05

産業技術総合研究所

12:05 3D-L1 国の研究所で働くとは？

千葉 靖典

(産総研生命工学領域 領域長)

12:35 3D-L2 シングルセルグライコミクスの革新と未来

舘野 浩章

(産総研細胞分子工学研究部門 研究部門付 イノベーション人材部 室長)

口頭発表 1 10月2日 B会場 (小ホール)

セッション 「ケミカルバイオロジー 1 / 合成 1」 9:25-11:30

座長：真鍋 良幸 (大阪大学)、岡本 亮 (成蹊大学)、佐々木 要 (東邦大学)

1B-01A 革新的がん免疫療法を目指した糖鎖抗原を利用した抗体リクルート戦略の検討

○真鍋 良幸^{1,2}、深瀬 浩一^{1,2,3}

(¹ 阪大院理・化学専攻、² 阪大院理・FRC、³ 阪大・IRS)

1B-02A 小胞体エンドマンノシダーゼは CNX/CRT サイクルにおいて不良糖タンパク質の選別に関与する

○平 啓人¹、平野 真²、栗原 大輝³、渡邊 千恵¹、平木 叡¹、廣瀬 光了¹、
Zalie Hakki⁴、Spencer J Williams⁴、伊藤 幸成⁵、戸谷 希一郎¹

(¹ 成蹊大・理工、² 安田女子大・薬、³ 大阪国際がんセンター、⁴ メルボルン大、
⁵ 大阪大院・理)

1B-03B 糖脂質抗原-ペプチド抗原の機能を利用した免疫調節性複合型分子の開発

○菊地 隼矢¹、松丸 尊紀¹、小椋 英樹²、石戸 聡²、藤本 ゆかり¹

(¹ 慶大理工、² 兵庫医大医)

1B-04B ホウ素媒介アグリコン転移を用いた α -GOSの全合成と免疫賦活活性

○佐川 萌里¹、孟 継坤¹、戸嶋 一敦¹、高橋 大介¹

(¹ 慶大・理工)

1B-05B マトリグリカン立体異性体の立体選択的合成と受容体親和性

○田口 遥斗¹、小寺 康太²、宮本 廉³、真鍋 法義³、山口 芳樹³、田村 純一^{1,2}

(¹ 鳥大院・持社創生農、² 鳥大院・連大農、³ 東北医科薬科大・薬)

1B-06B 古細菌偽ペプチドグリカンを構成する糖ペプチドの合成と免疫機能評価

○岡 詩織^{1,2}、有地 法人¹、大野 浩章¹、井貫 晋輔^{1,2,3}

(¹ 京大院薬、² 徳島大院薬、³ フォトニクス健康フロンティア研究院)

1B-07B 非対称化型ホウ素媒介アグリコン転移反応を用いた抗生物質カナマイシン類の全合成

○竹村 直敏¹、細見 香菜恵¹、妹尾 一樹¹、林 千草²、五十嵐 雅之²、
戸嶋 一敦¹、高橋 大介¹

(¹ 慶大・理工、² 微化研)

□頭発表 2 10月2日 C会場 (第3会議室)

セッション 「疾患と糖鎖 / 脳・神経」 9:25-11:55

座長：山口 芳樹 (東北医科薬科大)、井ノ口 仁一 (大阪大学)、
北爪 しのぶ (福島県立医科大学)

1C-01A 全国の診断困難な糖鎖関連希少疾患患者に対する診断連携：糖鎖関連未診断・希少疾患同定プラットフォーム

○要 匡^{1,2}、古川 潤一³、梅谷内 晶⁴、安形 清彦⁴、稲森 啓一郎⁵、井ノ口 仁一⁶、
北川 裕之⁷、木下 聖子⁴、山口 芳樹⁵、西原 祥子⁴

(¹ 国立成育医療研究 C・ゲノム医療、² 東北大院医・次世代小児医療、
³ 名古屋大・糖鎖生命コア研究所、⁴ 創価大・糖鎖生命システム融合研究所、
⁵ 東北医薬大・分子生体膜研究所、⁶ 大阪大・フォアフロント研究 C、
⁷ 神戸薬科大・生化学)

1C-02A ミスセンスバリエーションの病原性予測法 VarMeter2 の開発とその糖鎖関連遺伝子への応用

○山口 芳樹¹、大野 詩歩¹、小倉 千佳²、矢吹 茜³、伊藤 和義⁴、真鍋 法義¹、
安形 清彦⁴、梅谷内 晶⁴、木下 聖子^{3,4,5}、古川 潤一⁵、稲森 啓一郎⁶、井ノ口 仁一⁷、
要 匡⁸、西原 祥子^{3,4}、

(¹ 東北医薬大・分生研・糖鎖構造生物学、² 創価大・理工学部・共生創造理工学科、
³ 創価大・理工学研究科・生命理学専攻、⁴ 創価大・糖鎖生命システム融合研究所、
⁵ 名古屋大・糖鎖生命コア研究所、⁶ 東北医薬大・分生研・機能病態分子学、
⁷ 阪大院・理学研究科・フォアフロント研究センター、
⁸ 国立成育医療研究センター・ゲノム医療研究部)

1C-03B ゼブラフィッシュ Dpy19 family を介した C-mannosylation 欠損は脊柱側弯症様の体軸異常を誘発する

○大久保 早弥香¹、宇佐美 朋子¹、鈴木 健裕²、加茂 広貴¹、堂前 直²、川上 浩一³、
浅川 和秀⁴、清水 史郎¹

(¹ 慶應義塾大・理工・応化、² 理研・CSRS、³ 遺伝研・発生遺伝学、
⁴ 遺伝研・神経システム病態)

1C-04B グルコシルセラミド合成酵素阻害剤による鎮痛作用

○渡辺 俊^{1,2}、尾山 実砂^{1,2}、岩井 孝志^{1,2}、田辺 光男^{1,2}

(¹ 北里大・薬・薬理学、² 北里大・薬学部附属医薬研究施設)

1C-05A SIGLEC16 遺伝子多型と神経変性疾患発症リスクの関連解析

○井ノ口 仁一^{1,2}、田高 周³、稲森 啓一郎²、新田 昂大²、山口 芳樹²、西原 祥子⁴、木下 聖子⁴、榎谷内 晶⁴、安形 清彦⁴、佐藤 ちひろ⁵、羽根 正弥⁵、古川 潤一⁵、山本 雅之³、木下 賢吾³

(¹ 大阪大院理・FRC、² 東北医薬大・分生研、³ 東北メディカル・メガバンク、⁴ 創価大・GaLSIC、⁵ 名古屋大・iGCORE)

1C-06B アグリカンの神経活動依存的な発現がペリニューロナルネット形成を促進する

○中山 健太郎¹

(¹ 農工大院農)

1C-07B GPI アンカー型神経細胞接着分子 Contactin-6/NB-3 はコンドロイチン硫酸 E と結合する

○小松谷 啓介¹、小倉 潔¹、川島 育夫¹、井口 智弘²、平林 哲也³、比嘉 菜緒⁴、杉浦 信夫⁵、霜田 靖⁴、笠原 浩二¹

(¹ 都医学・細胞膜、² 都医学・ゲノム動態、³ 都医学・難聴、⁴ 長岡技科大、⁵ 愛知医科大学)

1C-08B 哺乳動物の大脳皮質においてプロテオグリカンが形成する細胞外マトリックスは神経細胞の巨大化を促進する

武渕 明裕夢¹、植田 禎史²、赤阪 (萬谷) 啓子³、萬谷 博³、齊藤 祐子³、新明 洋平⁴、河崎 洋志⁵、宮田 麻理子²、○宮田 真路¹

(¹ 東京農工大学連合農学研究科、² 東京女子医科大学医学部生理学講座、³ 東京都健康長寿医療センター、⁴ 浜松医科大学神経生理学講座、⁵ 金沢大学医学系)

□頭発表 3 10月2日 D会場 (第1会議室)

セッション 「糖鎖とがん制御 / 代謝・バイオインフォマティクス」 9:25-11:55

座長：大坪 和明 (熊本大学)、佐藤 智典 (慶應義塾大学)、細野 雅祐 (東北医科薬科大学)

1D-01A シアリル Tn 抗原による SOD2 誘導を介したがん細胞の酸化ストレス耐性獲得メカニズム

○橋本 華奈子¹、善明 慶裕¹、前田 賢人¹、○大坪 和明^{1,2,3}

(¹ 熊大 院保健 生体分子制御、² 熊大 院生命 生体分子制御、³ 熊大 院生命 生体情報研究セ)

1D-02B がん抑制遺伝子 p53 に制御されたムチン型 O-グリカンの解析

○佐藤 智典¹、田嶋 綾乃¹、松原 輝彦¹、Hu Die²、岡部 篤史^{3,4}、Jayaraman Krishnaraj²、堤 修一⁵、油谷 浩幸⁵、大木 理恵子²

(¹ 慶應大理工、² 国立がん研究セ研、³ 千葉大・健康疾患オミクス、⁴ 千葉大院医、⁵ 東大先端研)

1D-03B 高シヨ糖餌に誘導されるコアフコースが肉腫の悪性度を増強する

○大川 祐樹¹、貫戸 紀子¹、藤縄 玲子¹、中の 三弥子²、小谷 典弘³、三善 英知⁴、原田 陽一郎^{1,5}、谷口 直之¹

(¹ 大阪国際がんセンター・糖鎖オンコロジー部、² 広島大・統合生命、³ 埼玉医大・薬理学、⁴ 大阪大・院医・生体病態情報科学、⁵ 名古屋大・iGCORE)

1D-04B グリオーマにおける PTPRZ によるポリシアル酸の発現制御機構の解明

○大森 康平^{1,2}、羽根 正弥^{1,2}、呉 迪^{1,2,3}、北爪 しのぶ⁴、北島 健²、佐藤 ちひろ^{1,2}

(¹ 名大院・生命農学、² 名大・iGCORE、³ 名大・生物機能セ、⁴ 福島医大・保健)

1D-05B ガングリシド改変グリオーマ由来 EVs が及ぼすがん微小環境への影響

○小柳 宏華¹、キョウ 笑語¹、今尾 由佳²、伊藤 多佳子²、古川 鋼一¹、古川 圭子¹、大海 雄介²

(¹ 中部大院・生命健康科学・生命医科学、² 中部大・生命健康科学・臨床工学)

- 1D-06A 哺乳動物細胞において N 型糖鎖修飾はグルコース監視機構として機能する**
 ○ワンズウェイ^{1,2}、宮本 泰豪³、鈴木 健裕⁴、岡本 三紀¹、溝手 雄^{5,6}、堂前 直⁴、
 田原 秀晃^{5,7}、谷口 直之¹、原田 陽一郎^{1,2,8}
 (1)OICI・糖鎖オンコロジー、² 阪大・院医・分子腫瘍医学、³OICI・検査、⁴ 理研
 CSRS・生命分子解析 U、⁵OICI・がん創薬、⁶ がん免疫療法開発、⁷ 臨床研究セ、
⁸ 名大・iGCORE.)
- 1D-07A ガングリオシド GM3 のクラスター構造とレクチン結合のシミュレーション解析**
 ○李 秀栄¹、佐々木 克聡²、花島 慎弥²、村田 道雄³、水口 賢司⁴
 (1 医薬健栄研、² 鳥取大院工、³ 阪大院理、⁴ 阪大蛋白研)
- 1D-08B ムンプスウイルスが引き起こす細胞膜融合に影響する宿主細胞因子のゲノムワイド探索**
 本間 悠太^{1,2}、加藤 大志³、加藤 文博⁴、深澤 征義²、竹田 誠³、○山地 俊之^{1,2}
 (1 順天大・薬・微生物免疫、² JIHS 感染研・細胞科学、³ 東大院医・微生物、
⁴ JIHS 感染研・品質管理)

口頭発表 4 10月2日 B会場 (小ホール)

セッション 「糖鎖の構造解析 / 機能解析」 14:40-16:40

座長: 山口 拓実 (北陸先端科学技術大学院大学)、石渡 明弘 (国立研究開発法人理化学研究所)、
 矢木 宏和 (名古屋市立大学)

- 1B-08A 伝統健康食品ナガコンブから分離した新規フコイダンの化学構造**
 ○田幸 正邦¹、武田 真治^{1,2}、玉城 志博^{1,3}、小西 照子¹
 (1 琉球大・生資科、² 金秀バイオ、³ 琉球大・分生科セ)
- 1B-09A 分子シミュレーションと NMR 計測による糖鎖の水和挙動解析**
 ○山口 拓実^{1,2,3}
 (1 北陸先端大マテリアル、² 名市大院薬、³ 自然科学研究機構 ExCELLS)

1B-10A 糖鎖水和殻効果による糖タンパク質機能制御

岡本 亮^{1,2}、○真木 勇太^{1,2}、岩崎 理沙¹、森口 達也¹、芝田 大之¹、石川 華¹、
平尾 宏太郎^{1,2}、梶原 康宏^{1,2}

(¹ 阪大院理 化学専攻、² 阪大院理 FRC)

1B-11B *Bacteroides caccae* の GH91 イヌリンフルクトトランスフェラーゼによる Fru_n-DFA III の推定生成機構

○石渡 明弘¹、志手 由里奈²、北原 兼文²、藤田 清貴²、田中 克典^{1,3}、伊藤 幸成^{1,4}

(¹ 理研・開拓研、² 鹿児島大・農、³ 東科大院・物質理工、⁴ 阪大院・理)

1B-12B 乾眠性クマムシにおける特異な N 型糖鎖構造の解析

○矢木 宏和^{1,2}、齋藤 泰輝^{1,2}、Shih-Yun Guu³、山川 奈緒^{4,5}、島村 繁⁶、近藤 幸子^{1,2}、
矢木 真穂^{1,2}、高井 研⁶、古川 潤一⁵、Guérardel Yann^{4,5}、Khoo Kay-Hooi³、
荒川 和晴⁷、加藤 晃一^{1,2}

(¹ 名市大院薬、² 自然科学研究機構、生命創成探究センター、

³ Academia Sinica、⁴ Université de Lille, CNRS、⁵ 糖鎖生命コア研究所、

⁶ 海洋研究開発機構、⁷ 慶應大学)

1B-13B 哺乳細胞発現系を用いたヒト・マウス Dectin-1 の糖鎖修飾の比較解析

○真鍋 法義¹、中野 総星¹、山田 有紗¹、佐藤 健太¹、小松 祥子²、藤村 務²、
山口 芳樹¹

(¹ 東北医薬大・分生研・糖鎖構造生物学、² 東北医薬大・薬・臨床分析化学)

□頭発表 5 10月2日 C会場 (第3会議室)

セッション 「糖鎖による機能制御 / 免疫と糖鎖」 14:40-16:35

座長：吉田 雪子 (公益財団法人 東京都医学総合研究所)、三上 雅久 (神戸薬科大学)、
川島 博人 (千葉大学)

1C-09A 糖タンパク質型転写因子 Nrf1 の NGLY1 による活性化機構

○吉田 雪子¹

(¹ 都医学研)

- 1C-10B ガングリオシド合成酵素 ST8Sia5 のポリシアル酸合成能とその生物学的意義の解明**
○坂本 史哉¹、羽根 正弥^{1,2}、畑中 理菜¹、呉 迪^{1,2,3}、北島 健²、佐藤 ちひろ^{1,2}
(¹ 名大院・生命農学、² 名大・糖鎖生命コア研、³ 名大・生物機能セ)
- 1C-11B 小胞体マンノシダーゼ研究に関する最前線**
○蜷川 暁¹
(¹ 神戸大 バイオシ)
- 1C-12B サケ鼻軟骨プロテオグリカンの腸管上皮を介した作用機序の解明**
○平澤 信太郎¹、伊藤 賢一²、北口 公司^{1,3}、矢部 富雄^{1,3,4}
(¹ 岐阜大院・連合農学、² 一丸ファルコス、³ 先制食未来研セ、⁴ iGCORE)
- 1C-13B 4-硫酸化コンドロイチン硫酸の発現増加は BMP-4 介在性の軟骨分化進行促進に寄与する**
○三上 雅久¹、竹中 裕美¹、森田 知子¹、北川 裕之¹
(¹ 神戸薬大・生化)
- 1C-14B 新規抗マウス Dectin-1 モノクローナル抗体の計算科学によるエピトープ予測と生化学的特徴付け**
○多田 壘¹、前田 直樹¹、菅野 峻史¹、石橋 健一²、安達 禎之¹
(¹ 東京薬科大学・薬学部・免疫学教室、² 女子栄養大学・栄養学部・生体防御学研究室)
- 1C-15B EndoM N175Q、EndoS 変異体と糖ペプチドを用いて糖鎖改変した IVIG による ADCC 阻害**
○三村 雄輔¹、三村 由香¹、羽生 正人²、松崎 祐二²
(¹ 国立病院機構山口宇部医療センター臨床研究部、
² 東京化成工業株式会社 糖鎖技術研究所)

□頭発表 6 10月2日 D会場 (第1会議室)

セッション 「分析」 14:40-16:20

座長：中の 三弥子 (広島大学)、安形 清彦 (創価大学)

1D-09A サケ鼻軟骨由来プロテオグリカンの単離と品質管理法への応用

入谷 隼多¹、和田 竜哉¹、○戸井田 敏彦²

(¹ 日本薬品 (株)、² 千葉大院薬)

1D-10A 疾患バイオマーカー開発のためのハプトグロビンのグライコミック分析

○中の 三弥子¹

(¹ 広大院・統合生命)

1D-11A MASLD における肝線維化進展を反映する糖鎖バイオマーカーの探索

○花松 久寿¹、須田 剛生²、大原 正嗣²、坂本 直哉²、古川 潤一^{1,3}

(¹ 名大 糖鎖生命コア研究所、² 北大医 消化器内科、³ 北大医 整形外科)

1D-12A 迅速 N- グライコプロテオミクス基盤の構築および髄液マーカー探索への適用

半澤 健¹、ネムチッチ マティ¹、木村 暁夫²、○中嶋 和紀¹

(¹ 岐阜大・糖鎖生命コア研究所、² 岐阜大・医・脳神経内科学)

□頭発表 7 10月4日 B会場 (小ホール)

セッション 「ケミカルバイオロジー 2 / 合成 2」 13:05-15:15

座長：野上 敏材 (鳥取大学)、

藤川 紘樹 (公益財団法人サントリー生命科学財団 生物有機科学研究所)、

高橋 大介 (慶應義塾大学)

3B-01B テトラジンクリック反応による抗がん抗体の糖鎖高分子修飾と活性評価

○楢岡 善也¹、河原 咲来¹、宮川 稜平²、真鍋 良幸²、深瀬 浩一²、田中 知成¹

(¹ 京工織大院工芸、² 阪大院理)

- 3B-02B 近接依存性標識法による糖鎖高分子の細胞表面修飾**
○河原 咲来¹、楢岡 善也¹、宮川 稜平²、真鍋 良幸²、深瀬 浩一²、田中 知成¹
(¹京工織大院工芸、²阪大院理)
- 3B-03B フコイダン類縁体の合成とデングウイルス感染阻害活性**
○島田 滯¹、下岡 誠²、安齋 樹²、渡辺 登喜子^{2,3,4}、戸嶋 一敦¹、高橋 大介¹
(¹慶大・理工、²阪大・微研、³阪大・感染症総合教育研究拠点、
⁴阪大・先端モダリティ・DDS 研究センター)
- 3B-04A β 選択的 C-グリコシル化反応の開発と連結部編集型 β -グルコシルセラミドの機能評価**
○寄立 麻琴¹、千馬 鈴華¹、楠原 若菜²、三浦 大志¹、前田 和志¹、高村 晴人¹、
の場 博亮¹、石川 絵里²、山崎 晶²、平井 剛¹
(¹九大院薬、²阪大微研 IFRc)
- 3B-05B 可食性ポリフェノールシナピン酸を活性化剤に用いた環境調和型光グリコシル化反応の開発**
○白石 知佳子¹、高橋 大介¹、戸嶋 一敦¹
(¹慶大・理工)
- 3B-06B 可食性ポリフェノールエラグ酸を活性化剤に用いた環境調和型グリコシル化反応の開発**
○渡邊 彩斗¹、重田 英就¹、高橋 大介¹、戸嶋 一敦¹
(¹慶大理工)
- 3B-07B 電気あるいは金属を用いた C-グリコシド合成**
○野上 敏材^{1,2}、遠藤 大史¹、小谷 一貴¹、佐々木 紀彦^{1,2}
(¹鳥取大院工、²鳥取大工 GSC セ)
- 3B-08B 膜上挙動観察を目的とした大腸菌糖脂質 MPLase の蛍光標識体の合成**
○藤川 紘樹¹、大澤 月穂¹、西山 賢一²、島本 啓子^{1,3}
(¹公財サントリー生科財団 生有研、²岩手大 農、³阪大院 理学研究科)

□頭発表 8 10月4日 C会場 (第3会議室)

セッション 「生合成と分解」 13:05-14:20

座長：高橋 素子 (札幌医科大学)、萬谷 博 (東京都健康長寿医療センター)

3C-01B 糖転移酵素ファミリー 61 が UDP 認識に必要な立体モチーフの詳細

○田嶋 優子^{1,2}、長江 雅倫^{3,4}、Wang Han¹、岡島 徹也^{1,2}

(¹ 名大・医、² 名大・iGCORE、³ 阪大・微研、⁴ 阪大・IFReC)

3C-02B N型糖鎖分岐形成酵素 MGAT4 の発現が誘導する糖鎖成熟過程の摂動解析

○山崎 貴大¹、木塚 康彦¹

(¹ 岐阜大・糖鎖生命コア研究所)

3C-03B 細菌ガラクトツロノシルセラミド合成酵素の同定

○沖野 望¹、何 劉山川²、伊東 佳穂²、中島 美月²、豊田 滉太²、寺本 岳大¹、
石橋 洋平¹、角田 佳充¹

(¹ 九大・院農、² 九大・院生資環)

3C-04B GnT-III の非保存領域が種特異的活性に与える影響の解析

○鮑 婉雪^{1,2,3,4}、長江 雅倫^{2,3}、山崎 貴大¹、長束 俊治⁴、木塚 康彦¹

(¹ 岐阜大・iGCORE、² 大阪大・RIMD、³ 大阪大・iFReC、⁴ 新潟大院・自然科学)

3C-05B NGLY1 のエボラウイルス複製における役割の解明

○藤平 陽彦^{1,2}、佐藤 敬子¹、鈴木 匡¹

(¹ 理研、開拓研究所、鈴木糖鎖代謝生化学研究室、

² 順天堂大院・医学研究科・糖鎖創薬研究室)

口頭発表 9 10月4日 D会場 (第1会議室)

セッション 「糖鎖合成プローブと解析」 13:05-15:10

座長：石井 希実 (群馬大学)、花島 慎弥 (鳥取大学)、戸谷 希一郎 (成蹊大学)

3D-01A 連結部編集による生物活性の変化が示す天然型糖鎖モーションの役割

○平井 剛¹、森山 貴博¹、三浦 大志¹、寄立 麻琴¹、的場 博亮¹、加藤 直樹²、
八木 清³、李 秀栄⁴、中山 仁志⁵、岩渕 和久⁵、越野 広雪⁶

(¹ 九大院薬、² 摂南大農、³ 筑波大数理、⁴ 医薬健栄研 ArCHER、⁵ 順天堂大、
⁶ 理研 CSRS)

3D-02A 蛍光糖鎖プローブを用いた *Streptococcus pyogenes* 由来 ENGase の活性検出

○石井 希実¹、飯野 健太¹、松尾 一郎¹

(¹ 群馬大院・理工)

3D-03B 鶏卵からの Fmoc 化ハイマンノース型糖鎖アスパラギンの効率的な調製と構造解析

○和泉 雅之¹、赤山 泰斗¹、真木 勇太²、梶原 康宏²

(¹ 高知大理工、² 阪大院理)

3D-04B 核磁気共鳴法を利用する糖鎖と水の特異的な相互作用の解析

○石川 華¹、森口 達也¹、光定 和紀¹、平尾 宏太郎^{1,2}、真木 勇太^{1,2}、岡本 亮^{1,2}、
梶原 康宏^{1,2}

(¹ 阪大院理、² 阪大院理フォアフロント研究センター)

3D-05B タンパク質間相互作用におけるコアフコシル化糖鎖の機能解明研究

○小林 千桜¹、光定 和紀¹、平尾 宏太郎^{1,2}、真木 勇太^{1,2}、高松 真二³、三善 英知³、
梶原 康宏^{1,2}

(¹ 阪大院理、² 阪大院理フォアフロント研究センター、
³ 阪大院医・生体病態情報科学 (分子生化学))

3D-06B Notch 受容体 EGF ドメイン関連 O-GlcNAc 型糖ペプチドに対するガレクチン認識特性の解析

○岩田 佑季¹、ルートヴィヒ アンナクリスティーン²、横井 康弘¹、
ピロネス ラレーノジュニアロペス¹、ガビウス ハンスヨアヒム²、
カルトナー ヘルベルト²、比能 洋¹

(¹ 北大院生命科学院、先端生体制御科学研究室、² ミュンヘン大獣医、生理化学講座)

3D-07B インテグリン $\alpha 5 \beta 1$ 細胞外ドメインとガングリオシド GM3 糖鎖の相互作用解析

○佐々木 克聡^{1,2}、岸 水際³、村田 道雄^{3,4}、花島 慎弥^{1,2}

(¹ 鳥大院工、² 鳥大 GSC センター、³ 阪大院理、⁴ 阪大 FRC)

□頭発表 10 10月4日 B会場 (小ホール)

セッション 「糖鎖と診断・治療 1」 15:15-16:00

座長：稲森 啓一郎 (東北医科薬科大学)、坪井 滋 ((公財) 鷹揚郷腎研究所)

3B-09B B型肝炎ウイルスの新規治療薬としての PhoSL の有用性の検討

○高松 真二¹、森田 千晴²、左近 太佑¹、中村 孝太郎¹、菱井 朋香¹、近藤 純平¹、
上田 啓次²、三善 英知¹

(¹ 阪大院医、生体病態情報科学、分生、² 阪大院医、ウイルス学)

3B-10B ワンボット糖鎖リモデリング法にて合成した位置選択的 ADC の生物学的評価

○高田 美生¹、月村 亘¹、森 研人¹、橋井 則貴²、石井 明子²、杉 智和¹、水野 真盛¹、
後藤 浩太郎¹

(¹ (公財)野口研、² 国衛研)

3B-11B 糖鎖・レクチンパターン認識によるがん細胞個別治療を目指した研究

○布目 朗人¹、張 宗哲²、田中 克典^{1,2}

(¹ 科学大、物質理工、² 理研、開拓研究所、田中生体研)

□頭発表 11 10月4日 C会場 (第3会議室)

セッション 「糖鎖と診断・治療 2」 14:20-15:50

座長：畠山 真吾 (弘前大学)、木塚 康彦 (岐阜大学 糖鎖生命コア研究所)

3C-06B 先天性 GPI 欠損症とアデノ随伴ウイルス (AAV) を用いた遺伝子治療の効果

○梅下 沙織¹、村上 良子¹、今西 香絵¹

(¹ 大阪大、微生物病研究所)

- 3C-07A 様々な悪性腫瘍の診断における尿中遊離糖鎖マーカーの臨床的有用性の検討**
○宮本 泰豪^{1,2}、半澤 健³、岡本 三紀²
(¹ 大阪国際がんセ・臨床検査、² 大阪国際がんセ・研究所、³ 岐阜大・糖鎖生命コア)
- 3C-08A ポリシアル酸の新たな高感度定量法の確立とその生物試料分析への応用**
○羽根 正弥^{1,2}、奈良村 文音²、早川 開都²、阿部 智佳羅¹、中川 貴博²、久島 周^{3,4}、
古川 宗磨⁴、深見 祐樹⁴、池上 啓介⁵、西郷 和真^{6,7}、楠 進⁷、勝野 雅央^{1,4}、
尾崎 紀夫^{1,4}、北島 健¹、佐藤 ちひろ^{1,2}
(¹ 名大糖鎖生命コア、² 名大院生命農、³ 名大病院、⁴ 名大院医、⁵ 九大院農、⁶ 近大病院、
⁷ 近大院医)
- 3C-09A 幽門腺型粘液の α GlcNAc 消失は諸臓器に発生する胃型腫瘍の早期バイオマーカーで、癌の悪性化にも関わる**
○山ノ井 一裕¹、藤井 千文^{2,3}、中山 淳^{4,5}
(¹ 慶應大病院、病理、² 信州大 医、³ 信州大 バイオメディカル研究所、
⁴ 信州大 医 遺伝医学、⁵ 北アルプス医療センターあづみ病院 病理診断科)

□頭発表 12 10月4日 D会場 (第1会議室)

セッション 「独創的な糖鎖研究」 15:10-16:00

座長：小川 智久 (東北大学)

- 3D-08A 構造および機能グリコタイピング**
○比能 洋¹
(¹Hokkaido Univ.)
- 3D-09A 保護された単糖で修飾されたシリカ粒子を化学センシングに使う**
○蟹江 治¹、内田 司¹、中村 彩乃¹、加藤 佑介¹、藤原 真¹、蟹江 善美¹
(¹ 東海大工)

ポスター発表 10月3日
PA-01～PA-39
ポスター A 会場 (美術展示室)
PE-01～PE-07、PG-01～PG-28
ポスター B 会場 (小ホール (後方))

- PA-01 ノロウイルスに結合性を示す硫酸化糖脂質のウイルス結合機構及び感染性への影響の解析**
○西家 杏樹¹、紅林 佑希¹、塚本文汰¹、若林 佳輝¹、小田 直希¹、南 彰^{1,2}、高橋 忠伸¹、鈴木 隆¹、竹内 英之¹
(¹ 静岡県大葉 生化学、² 順天堂大葉 機能形態学)
- PA-02 糖尿病性腎症モデルにおけるジガラクトシルセラミドの蓄積と炎症・炎症性細胞死への関与**
○新田 昂大¹、狩野 裕考^{2,3}、石川 潮²、石田 秀治⁴、今村 彰宏⁴、花房 慶⁵、宮崎 哲朗⁵、岩淵 和久⁵、井ノ口 仁一⁶、稲森 啓一郎¹
(¹ 東北医薬大 機能病態分子学、² 慶應義塾大 生命先端研、³ シンシナティ大、⁴ 岐阜大 応用生物、⁵ 順天堂大 薬学部、⁶ 大阪大 フォアフロント研究センター)
- PA-03 分岐 O-Man 型糖鎖の成熟機構の解明**
○伊藤 智哉¹、長江 雅倫²、田中 秀則³、木塚 康彦^{1,3}
(¹ 岐阜大院・自然科技、² 大阪大・微研、³ 岐阜大・iGCORE)
- PA-04 O-グライコプロテアーゼ IMPa の *In silico* 進化による変異体設計とその特性評価**
○森 研人¹、中野 祥吾²、伊藤 創平²、黒河内 政樹³、水野 真盛³、高田 美生¹、高島 晶¹
(¹ (公財) 野口研・糖鎖生物、² 静岡県大・食品栄養科学部、³ (公財) 野口研・糖鎖有機)
- PA-05 炭素連結型 GM3 を基盤とする“Tail 修飾型”蛍光プローブの開発**
○西田 優希¹、鈴木 健一²、山口 英利子²、森山 貴博¹、寄立 麻琴¹、安藤 弘宗²、平井 剛¹
(¹ 九大院薬、² 岐阜大、iGCORE)

- PA-06 ワンポット糖鎖リモデリング法を基盤とした高薬物抗体比 ADC の創製**
○三保谷 綾¹、瀬戸 萌愛¹、月村 亘¹、森 昌子¹、森 研人¹、弘瀬 友理子¹、
水野 真盛¹、高田 美生¹、後藤 浩太郎¹
(¹(公財)野口研)
- PA-07 糖転移酵素のゴルジ体内局在を制御する分子ネットワークの解析**
○立尾 清悟^{1,2,3}、矢木 宏和^{2,3}、齋藤 泰輝^{2,3}、池田 和貴⁴、足達 俊吾⁵、加藤 晃一^{1,2,3}
(¹自然科学機構 分子研、²自然科学機構 生命創成探究センター、³名市大院薬、
⁴かずさ DNA 研、⁵国立がん研究センター)
- PA-08 多種多様な糖鎖構造を持つ糖ペプチドの LC 分離に及ぼすペプチド鎖長の影響**
○小野 和也¹、木塚 康彦²、中の 三弥子¹
(¹広大院・統合生命科学、²岐阜大・iGCORE)
- PA-09 硫酸化シアル酸の新規検出法の確立と棘皮動物における分布の解析**
○山下 聡太¹、大本 敬之²、山川 奈緒²、呉 迪^{2,3}、羽根 正弥^{1,2}、北島 健²、
佐藤 ちひろ^{1,2}
(¹名大院・生命農学、²名大・iGCORE、³名大・生物機能セ)
- PA-10 クラスタ効果の向上を指向した多価型糖鎖ポリマーの合成研究 (I) : 多価型糖鎖ポリマーの合成と物性評価**
○園田 憲蔵¹、松下 隆彦^{1,2,3}、小山 哲夫¹、幡野 健^{1,2,3}、松岡 浩司^{1,2,3}
(¹埼大院理工、²埼大先端ラボ、³埼大戦略研究)
- PA-11 生物種・組織特異的コンドロイチン硫酸 / デルマトン硫酸の凝集体形成**
○北井 悠仁¹、武田 - 奥田 尚子¹、榎谷 晃明²、田村 純一¹
(¹鳥取大院・持社創生農、²一丸ファルコス・開発)
- PA-12 マウス消化管各部位におけるムチン O- 結合型糖鎖の構造と腸内細菌叢の関連**
○飯田 理世¹、中島 有登¹、片山 高嶺¹、加藤 紀彦¹
(¹京大院・生命)
- PA-13 高効率オキシム化反応を介した糖複合体の合成検討**
○吉野 琴美¹、諸越 美佳¹、岡 夏央^{1,2,3}
(¹岐阜大院・自然科技研、²岐阜大・iGCORE、³岐阜大・COMIT)

- PA-14 糖転移酵素のチロシンリン酸化による制御**
○富田 崇羽¹、中の 三弥子²、木塚 康彦³
(¹ 岐阜大院・自然科学技術研究科、² 広島大院・統合生命科学研究科、³ 岐阜大・糖鎖生命コア研究所)
- PA-15 無保護ペプチドの糖鎖修飾を志向した N,S-グリコシル化反応の開発**
○眞木 準平¹、岡本 亮¹
(¹ 成蹊大理工)
- PA-16 アグリコンの疎水性度を指標とした糖鎖プロセッシング酵素の活性変動**
○河野 佑真¹、廣瀬 光了¹、戸谷 希一郎¹
(¹ 成蹊大理工)
- PA-17 糖鎖付加部位近傍のアミノ酸配列に着目した小胞体エンドマンノシダーゼの基質特異性**
○幸 蓮太郎¹、廣瀬 光了¹、戸谷 希一郎¹
(¹ 成蹊大学 理工学部)
- PA-18 C-mannosylation が ADAMTS1 の分泌や活性化に与える影響の解析**
○原井 夏美¹、小林 峰人¹、鈴木 健裕²、川原 遼太¹、堂前 直²、清水 史郎¹
(¹ 慶應義塾大・理工・応化、² 理研・CSRS)
- PA-19 近接標識を用いた細胞表層糖鎖のリモデリングとがん免疫療法への応用**
○宮川 稜平¹、佐藤 伸一²、眞鍋 良幸^{1,3}、深瀬 浩一^{1,3}
(¹ 阪大院理、² 東北大 FRIS、³ 阪大院理 FRC)
- PA-20 ラット肝臓破碎液中の PNGase /ENGase 活性同時検出を志向した糖ペプチドプローブの開発**
○鎌田 結子¹、齋藤 直暉¹、藤平 陽彦²、鈴木 匡²、廣瀬 光了¹、戸谷 希一郎¹
(¹ 成蹊大理工、² 理研・CPR・鈴木糖鎖代謝生化学)
- PA-21 ハプトグロビンの糖鎖構造と表現型の違いによるヘモグロビン結合量変化**
○佐藤 辰太郎¹、高松 真二²、三善 英知²、中の 三弥子¹
(¹ 広大院・統合生命、² 阪大院医・生体病態情報科学)

- PA-22 Pradimicin A の二量体構造に基づく抗ウイルス薬リードの開発**
○川口 真司¹、木下 貴明²、安田 二郎²、五十嵐 康弘³、伊藤 幸成⁴、中川 優⁵
(¹ 名大院生命農、² 長崎大 CCPID、³ 富山県大生工、⁴ 阪大院理、⁵ 名大 iGCORE)
- PA-23 糖化リゾリン脂質 LysoPtdGlc の効率的合成**
○榎井 碧海¹、石井 希実^{1,2}、Greimel Peter³、松尾 一郎^{1,2}
(¹ 群馬大理工、² 群馬大院理工、³ 理研)
- PA-24 がん細胞の殺傷機能を有するカルレティキュリン標的リガンドの開発**
○下垣内 遥紀¹、小林 優佳¹、民秋 均²、栗原 大輝³、廣瀬 光了¹、戸谷 希一郎¹
(¹ 成蹊大・理工、² 立命館大院・生命科学、³ OICI・糖鎖オンコロジー)
- PA-25 迅速かつ低侵襲な検査技術の実現のための C 型レクチンを利用したインフルエンザウイルス濃縮デバイスの開発**
○大橋 凜太郎¹、中村 江里¹、上村 和秀¹
(¹ 中部大院・生命健康)
- PA-26 細胞内 ENGase 活性検出プローブ探索のための直交型保護基導入 5 糖の合成**
○高橋 文弥¹、吉田 奏太²、石井 希実^{1,2}、松尾 一郎^{1,2}
(¹ 群馬大・理工、² 群馬大院・理工)
- PA-27 UDP-Glc: glycoprotein glucosyltransferase 阻害剤創出に向けたウラシル骨格が修飾された UDP 類縁体の合成研究**
○石崎 千晴¹、笹江 優作¹、阿部 純平^{1,2,3}、平尾 宏太郎^{1,2}、真木 勇太^{1,2}、梶原 康宏^{1,2}、伊藤 幸成²
(¹ 阪大院理、² 阪大院理フォアフロント研究センター、³ 大阪国際がんセンター)
- PA-28 酵素 - 基質複合体の結晶構造解析に向けた ENGase 耐性糖鎖の合成**
○吉田 奏太¹、内山 京²、石井 希実^{1,2}、松尾 一郎^{1,2}
(¹ 群馬大院・理工、² 群馬大・理工)
- PA-29 ヒト血清・血漿糖タンパク質のペプチド分画を基軸とした高深度同定**
○荒川 広夢¹、犬塚 恭子¹、矢野 恭子¹、郷 詩織¹、梶 裕之¹
(¹ 名古屋大、糖鎖生命コア研究所)

- PA-30 創薬への応用に向けた Pradimicin A の構造単純化**
○近藤 巨¹、五十嵐 康弘²、伊藤 幸成³、中川 優^{1,4}
(¹ 名大生命農、² 富山県大生工、³ 阪大院理、⁴ 名大 iGCORE)
- PA-31 蛍光標識 O-アセチル化シアル酸の高感度オンラインデュアル検出システムの開発**
○大本 敬之¹、山川 奈緒^{1,2}、呉 迪^{1,3}、羽根 正弥^{1,3}、北島 健¹、佐藤 ちひろ^{1,3}
(¹ 名大・iGCORE、² リール大学・CNRS、³ 名大院・生命農学)
- PA-32 マトリグリカン誘導体の合成と受容体親和性**
○小寺 康太¹、宮本 廉²、真鍋 法義²、山口 芳樹²、田村 純一¹
(¹ 鳥大院・連大農、² 東北医薬大・分生研・糖鎖構造生物学)
- PA-33 α -キシロース含有糖鎖の機能解明を目指した哺乳動物由来の α -キシロシダーゼの探索**
○藤田 優貴¹、紅林 佑希¹、佐藤 理絵¹、大坪 忠宗²、塚本 庸平¹、南 彰³、高橋 忠伸¹、池田 潔¹、竹内 英之¹
(¹ 静岡県大薬、² 広島国際大薬、³ 順天堂大薬)
- PA-34 抗真菌性天然物 Poacic acid の多糖結合解析**
○茅原 果穂¹、中川 優^{1,2}
(¹ 名大院・生命農、² 名大・iGCORE)
- PA-35 Detection of high-grade serous ovarian cancer using sialic acid glycan features in serum and ascites**
○ビエネス クリスティーナ メイ¹、横井 暁²、アンダーセン モルテン^{1,3}、カワハラ レベッカ¹
(¹ 名古屋大学 糖鎖生命コア研究所 (iGCORE)、日本、
² 名古屋大学医学部附属病院 産科婦人科、日本、
³ マッコーリー大学 自然科学部、オーストラリア)
- PA-36 ヒト IgE-Fc に修飾される高マンノース型糖鎖の構造と機能的役割の解析**
○野村 桜子¹、澤田石 遥香¹、加茂 希萌¹、岩渕 立郎¹、真鍋 法義¹、上松 亮平²、坂本 泉²、廣瀬 賢治^{3,4}、権 垠相³、山口 芳樹¹
(¹ 東北医科薬科大学・分生研・糖鎖構造生物学教室、² 糖鎖工学研究所、
³ 東北大、⁴ 日本ウォーターズ)

- PA-37 気相赤外分光による C 型レクチンの金属イオン特異性の解明**
 ○高橋 太星¹、矢沢 天真¹、平田 圭祐¹、石内 俊一¹
 (1 東京科学大・理)
- PA-38 フコシル化糖タンパク質が血中に異常増加した時の病態生理に関する研究**
 ○中村 孝太郎¹、高松 真二¹、左近 太佑¹、菱井 朋香¹、近藤 純平¹、三善 英知¹
 (1 阪大院・医 生体病態情報科学)
- PA-39 マンノシダーゼ MAN1B1 と EDEM family の比較機能解析**
 ○渡辺 百花¹、谷川 友亮²、大下 修一郎²、松尾 將生²、Liew Chia-Yen³、
 Ni Chi-Kung³、木塚 康彦⁴、近藤 幸子⁵、中の 三弥子⁶、矢木 宏和⁷、加藤 晃一^{5,7,9}、
 蜷川 暁^{2,8}
 (1 神大農、² 神大院農、³ 中研院糖鎖質量研、⁴ 岐大糖鎖コア研、
⁵ 生命創成探究センター、⁶ 広大院統合生命科、⁷ 名市大院薬学研、
⁸ 神戸大バイオシグナル研、⁹ 自然科学研究機構)
- PE-01 種々の糖質加水分解酵素を利用したムチンのコア 1,2,3,4,6 を構成するオリゴ糖の合成**
 ○田中 知成¹、中田 竣介¹、殿村 規介²、加藤 紀彦³、片山 高嶺³、大沼 貴之²
 (1 京工繊大院工芸、² 近大院農、³ 京大院生命)
- PE-02 C-マンノシルトリプトファンの分解酵素遺伝子に関する研究**
 ○本 賢一¹、眞鍋 史乃^{2,3}、鈴木 健裕⁴、黒川 李奈⁵、有田 正規^{4,6}、須田 亙⁵、
 堂前 直⁴、鈴木 匡¹
 (1 理研・開拓研究所、² 星薬科大・薬、³ 東北大・薬、⁴ 理研・環境資源、
⁵ 理研・生命医、⁶ 遺伝研・生命情報 DDBJ)
- PE-03 抗原のマスキング解除に関わる糖鎖切断型プロテオグリカンの同定と抗体医薬の感受性増強機構の解析**
 ○中村 真男¹、佐々木 一樹^{1,2}
 (1 公益財団法人佐々木研究所、² 栃木県立がんセンター研究所)
- PE-04 熱水噴出孔メタゲノム由来の O- グライコプロテアーゼの解析**
 ○高島 晶¹、黒河内 政樹¹、中野 祥吾²、伊藤 創平²、水野 真盛¹、高田 美生¹
 (1 (公財) 野口研、² 静岡県立大・食品栄養科学)

- PE-05 細胞質 Peptide:N-glycanase がもつ非触媒ドメインの機能についての解析**
○平山 弘人¹、立田 由里子²、藤田 盛久¹、真鍋 法義³、山口 芳樹³、石井 希実⁴、高橋 剛⁴、松尾 一郎⁴、鎌田 勝彦⁵、鈴木 匡⁵
(¹ 岐阜大、iGCORE、² 創価大学、糖鎖生命システム融合研究所、³ 東北医科薬科大、分子生体膜研究所、⁴ 群馬大学院、理工、⁵ 理研、開拓研究所)
- PE-06 2,6- ラクトンを糖供与体に用いたグリコシル化の反応機構**
○佐々木 要¹、植崎 菜々子¹、谷山 絵里香¹、中島 理子¹、瀧澤 柚花¹、篠塚 佑太¹、橋本 悠介¹
(¹ 東邦大理)
- PE-07 コンドロイチン硫酸 A は Wnt3a/ β - カテニン依存的な p53 の発現亢進を介して骨芽細胞分化を抑制する**
○小池 敏靖¹、北川 裕之¹
(¹ 神戸薬大・生化学)
- PG-01 部分的に加水分解した糖鎖を有する ⁸⁹Zr 標識化パニツムマブの PET イメージング**
○破入 正行^{1,2}、謝 琳¹、張 一鼎¹、門間 あゆみ¹、鈴木 寿¹、森 昌子¹、水野 真盛²、後藤 浩太郎²、張 明栄¹
(¹ 量研・量医研・先進核医学、²(公財) 野口研)
- PG-02 LacdiNAc 合成酵素 B4GALNT3 が持つ PA14 ドメインのレクチン活性と機能**
○所 裕子¹、山崎 貴大¹、舘野 浩章²、鎌足 雄司^{1,3}、木塚 康彦¹
(¹ 岐阜大 iGCORE、² 産総研、多細胞システム制御、³ 岐阜大、科学研究基盤センター)
- PG-03 ショウジョウバエ コンドロイチン硫酸 N- アセチルガラクトサミン転移酵素および 4-O- 硫酸基転移酵変異体の解析**
○泉川 友美^{1,2}、中藤 英里子²、山本 華子¹、佐野 来輝¹、守屋 綾乃²、秋山 琢也³、豊田 亜希子¹、中藤 博志²、豊田 英尚¹
(¹ 立命館大・薬、² ミネソタ大学、³ Indiana State University)

- PG-04 低硫酸化ケラタン硫酸を発現する明細胞卵巣癌細胞株の樹立**
○星野 瞳¹、井上 大輔²、吉田 寿人¹、重藤 翔平³、松田 和之⁴、赤間 智也⁵、
吉田 好雄²、小林 基弘¹
(¹ 福井大・医・病理、² 福井大・医・産科婦人、³ 信州大附病・臨床検査、
⁴ 信州大・医保・生体情報検査、⁵ 関西医大・医・薬理)
- PG-05 ヒト血漿中の GAG 二糖分析の為の調製方法の開発とその品質管理**
後藤 美樹¹、○黒河内 政樹¹、花松 久寿¹、古川 潤一¹
(¹ 名古屋大学 糖鎖生命コア研究所)
- PG-06 百寿者の血漿 N- グライコプロテオミクス ー健康長寿と慢性炎症に特徴的な糖ペ
プチド**
○三浦 ゆり¹、阿部 由紀子²、小川 まどか³、佐々木 貴史²、津元 裕樹¹、
梅澤 啓太郎¹、川上 恭司郎¹、増井 幸恵¹、石崎 達郎¹、池邊 一典³、神出 計³、
平田 匠¹、権藤 恭之³、広瀬 信義²、新井 康通²、遠藤 玉夫¹
(¹ 都健康長寿医セ研、² 慶應大、³ 大阪大)
- PG-07 がん組織中のジフコシル化タイプ 1-N 型遊離糖鎖の検出とがん診断への検証**
○岡本 三紀¹、半澤 健²、宮本 泰豪³
(¹ 大阪国際がんセ・研究所、² 岐阜大・糖鎖生命コア、³ 大阪国際がんセ・臨床検査)
- PG-08 分子シミュレーションによる ErbB タンパク質上の N 型糖鎖の動的構造と役割の
解明**
○佐藤 美智代¹、藤谷 直樹²、高橋 素子²、山口 拓実^{1,3,4}
(¹ 北陸先端大マテリアル、² 札医大医・医化学、³ 名市大院薬、
⁴ 自然科学研究機構 ExCELLS)
- PG-09 巨大ウイルスの糖鎖修飾の多様性と共通性の解析**
○Shim Jinbo^{1,2}、矢木 宏和^{1,2}、黒河内 政樹³、矢木 真穂^{1,2}、古川 潤一³、
武村 政春⁴
(¹ 名市大院薬、² 自然科学研究機構 生命創成探究センター、
³ 名古屋大学 糖鎖生命コア研究所、⁴ 東理大院理)

- PG-10 難病ポータルサイト (NanbyoData) への糖鎖遺伝子データ統合**
 ○細田 正恵¹、申 在紋¹、高月 照江¹、三橋 信孝¹、藤原 豊史¹
 (¹ 情シス機構・DS 施設・DBCLS)
- PG-11 光架橋手法でポリシアル酸結合分子の研究**
 ○黄 澄澄¹、羽根 正弥²、呉 迪²、Konada Rohit Sai Reddy³、
 Kohler Jennifer Jean³
 (¹ 名古屋大、糖鎖生命コア、ケミカル糖鎖生物、
² 名古屋大、糖鎖生命コア、統合生命科学糖鎖、
³ UT southwestern Medical center)
- PG-12 SARS-CoV-2 糖鎖由来マンノペンタオースとプラディミシン A との結合解析**
 ○カ石 涼暉¹、柳田 亮²、五十嵐 康弘³、伊藤 幸成⁴、中川 優^{1,5}
 (¹ 名大院生命農、² 香川大農、³ 富山県大生工、⁴ 阪大院理、⁵ 名大 iGCORE)
- PG-13 ヒトミルクオリゴ糖 2'-FL, 3-FL の合成**
 三村 友里菜¹、橋本 優花¹、河村 奈緒子²、田中 秀則²、安藤 弘宗²、石田 秀治^{1,2}、
 ○今村 彰宏^{1,2}
 (¹ 岐阜大・応用生物、² 岐阜大・iGCORE)
- PG-14 コンドロイチン硫酸 E による P19 細胞の RA 依存的神経分化促進機構**
 ○柿崎 育子¹、小林 孝安²、須藤 晋一郎¹
 (¹ 弘前大院医 糖鎖工学、² 東北大 動物・遺伝子実験支援セ)
- PG-15 GM1 ガングリオシドとの相互作用に着目した新規アミロイド β 凝集阻害剤の設計**
 ○本間 慧大¹、入江 一浩²、中川 優^{1,3}
 (¹ 名大院生命農、² 同志社大研究開発推進機構、³ 名大 iGCORE)
- PG-16 ヒアルロン酸による UDP-GlcNAc 代謝、糖鎖修飾および細胞機能の制御機構の解析**
 ○伊左治 知弥¹、王 悦¹、小野 拓朗¹、齋藤 つくし¹、福田 友彦¹、顧 建国¹
 (¹ 東北医科薬科 分生研)
- PG-17 母乳中の N/O 結合型糖鎖濃度の泌乳期変化**
 ○山口 敏幸¹、辻森 祐太²、酒井 史彦¹、日暮 聡志²、福留 博文¹
 (¹ 雪印メグミルク (株) ミルクサイエンス研究所、
² 雪印ビーンスターク (株) 商品開発部)

- PG-18 ウシ精巢性ヒアルロニダーゼの活性に対するギンセノシド類の効果**
○須藤 晋一郎¹、村上 諒²、張 軒榕³、佐々木 柊²、柿崎 育子¹
(¹ 弘前大院医・糖鎖工学講座、² 弘前大医学部医学科、³ 弘前大医学部保健学科)
- PG-19 ショウジョウバエの神経機能におけるヘパラン硫酸 3-O 硫酸転移酵素の機能解析**
○神村 圭亮¹
(¹ (公財) 東京都医学総合研究所 脳神経回路形成プロジェクト)
- PG-20 うつモデルを用いた脳神経炎症に対する L- フコースの効果および Fut8 との関連性**
○福田 友彦¹、鄭 蒙¹、張 思銘¹、王 悦¹、伊左治 知弥¹、顧 建国¹
(¹ 東北医薬大・分生研)
- PG-21 抗凍結活性オリゴキシロマンナンの立体選択的合成**
○谷山 絵里香¹、清水 恵理¹、村越 一輝¹、酒井 宏晃¹、松本 珠紀¹、橋本 悠介¹、
佐々木 要¹
(¹ 東邦大理)
- PG-22 リッチな SNFG 表現を実現する直感的糖鎖入力プラットフォーム**
○松原 正陽¹、木村 直貴¹、下山 紘充¹、木下 聖子²、山田 一作¹
(¹ (公財) 野口研、² 創価大)
- PG-23 O- グライコプロテアーゼ IMPa の特異性理解のための構造・相互作用解析**
○下山 紘充¹、玉野 智章¹、山田 一作¹
(¹ 野口研)
- PG-24 糖鎖構造のかたちをつなぐ：WURCS を基盤とした多次元統合データの世界**
○山田 一作¹、松原 正陽¹、木村 直貴¹、下山 紘充¹
(¹ (公財) 野口研)
- PG-25 膵臓がん培養細胞株の二次元および三次元培養における N 型糖鎖の比較解析**
○津元 裕樹^{1,2}、西風 隆司²、志智 優樹¹、石渡 俊行¹、早川 禎宏²、三浦 ゆり¹
(¹ 都健康長寿医セ研、² 島津製作所)

- PG-26 Fmoc 保護糖アミノ酸で観測される化学交換の NMR 解析**
○上松 亮平¹、橋本 奈央子¹、坂本 泉¹、吉田 慎一郎²、真鍋 法義³、金谷 章生¹、
権 垠相²、山口 芳樹³
(¹ 糖鎖工学研究所、² 東北大院理巨大分子解析研セ、³ 東北医薬大分子生体膜研究所)
- PG-27 ペプチドの β -シート構造形成における糖鎖機能の解明研究**
○山田 健太郎¹、梶原 康宏^{1,2}、真木 勇太^{1,2}、平尾 宏太郎^{1,2}
(¹ 阪大院理、² 阪大院理フォアフロント研究センター)
- PG-28 Elucidation of novel glycan functions that promote the α -helix formation of peptide**
○Anjari Intan Hawina¹、Hirao Kohtarō^{1,2}、Maki Yuta^{1,2}、Okamoto Ryo^{1,2}、
Kajihara Yasuhiro^{1,2}
(¹Grad. Sch. Sci., UOsaka.、²FRC, Grad. Sch. Sci., UOsaka)

ポスター発表 10月4日

PA-40 ~ PA-76

ポスター A 会場 (美術展示室)

PE-08 ~ PE-11、PG-29 ~ PG-57

ポスター B 会場 (小ホール (後方))

- PA-40 Fold Back 配座の重要性解明に向けた非天然複合型糖鎖の合成研究**
○三浦 生夢¹、熊谷 珠羅奈¹、田島 直也¹、廣瀬 光了¹、戸谷 希一郎¹
(¹ 成蹊大学 理工学部)
- PA-41 ビオチン化ケラタン硫酸オリゴ糖の位置および立体選択的合成**
○服部 怜¹、岩間 千明²、植村 優那²、横野 瑞希³、武田-奥田 尚子²、田村 純一^{1,2}
(¹ 鳥取大院・持社創生農、² 鳥取大農・生命環境農、³ 鳥取大・技術部)

- PA-42 肝がんにおけるフコシル化標的分子 LRP1 の同定と生物学的意義の解明**
○緒方 あすか¹、上田 美薫¹、大山 航季¹、高松 真二¹、近藤 純平¹、鎌田 佳宏²、三善 英知¹
(¹ 阪大院・医 生体病態情報科学、² 阪大院・医 生体物理工学)
- PA-43 双子血清を用いたガラクトース欠損 IgG の評価**
○祝迫 真樹¹、森島 尚紀¹、緒方 あすか¹、高松 真二¹、近藤 純平¹、鎌田 佳宏²、渡邊 幹夫³、三善 英知¹
(¹ 阪大院・医 分子生化学、² 阪大院・医 超音波医学、³ 阪大院・医 予防診断学)
- PA-44 CNN の高機能化に向けた合成研究 (V): テトラリングより CNN の単離**
○富岡 璃久¹、富山 紋¹、小山 哲夫¹、松下 隆彦^{1,2,3}、幡野 健^{1,2,3}、松岡 浩司^{1,2,3}
(¹ 埼大院理工、² 埼大先端ラボ、³ 埼大戦略研究)
- PA-45 *In silico* および生化学的解析によるシグレック群の病原性ドメインの探索**
○森下 沙世¹、羽根 正弥^{1,2}、迪 呉^{1,2,3}、北島 健^{1,2}、佐藤 ちひろ^{1,2}
(¹ 名大院・生命農、² 名大・iGCORE、³ 名大・生物機能セ)
- PA-46 エリスロポエチンの糖鎖化ループ構造の機能解明**
○光定 和紀¹、平尾 宏太郎^{1,2}、真木 勇太^{1,2}、佐藤 あやの³、梶原 康宏^{1,2}
(¹ 阪大院理、² 阪大院理フォアフロント研究センター、³ 岡大院ヘルスシステム)
- PA-47 合成低分子 TLR7 リガンドおよびオリゴ糖を共固定化した金ナノ粒子の免疫賦活活性**
○中原 逸貴¹、伊藤 康平²、川崎 大輔²、坂西 綱太²、若尾 雅広¹、新地 浩之¹
(¹ 鹿児島大・院理工、² KH ネオケム (株))
- PA-48 糖鎖-TLR リガンド複合体の合成および免疫活性評価**
○坂下 太一¹、伊藤 康平²、川崎 大輔²、坂西 綱太²、新地 浩之¹、若尾 雅広¹
(¹ 鹿児島大・院理工、² KH ネオケム (株))
- PA-49 糖鎖生合成シミュレーションのためのパラメータ推定システムの実装**
○小出 美香¹、木下 聖子^{1,2,3}、塚田 伸樹¹
(¹ 創大院理工、² GaLSIC、³ iGCORE)

- PA-50** **カイクは摂取する単糖類によりグリコサミノグリカン鎖合成が変化する**
○米野 雅大¹、田中 里佳子¹、山田 真理恵¹、塩谷 健斗¹、松本 靖彦²、東 恭平¹
(¹ 東京理科大・薬、² 明治薬科大学・薬)
- PA-51** **アセル酸供与体生合成機構解明を目指した、アセル酸ヌクレオチドの効率的合成法の開発**
○古川 愛¹、藤原 亘汰²、宮川 淳²、武田 陽一¹
(¹ 立命館大院生命科学、² 名工大院工)
- PA-52** **Neu1 欠損ゼブラフィッシュの DA および 5-HT ニューロンの活性化とその社会性行動変化への関与**
○辻 すもも¹、池田 麻美¹、江籠 遥香²、二神 裕子²、小松 正治^{1,2}、塩崎 一弘^{1,2}
(¹ 鹿児島大学院・農林水産・食品創成科学、² 鹿児島大・水・食品生命科学)
- PA-53** **糖鎖修飾型均一抗体薬物複合体 (ADC) の N- 結合型糖鎖の系統的合成**
○酒本 萌¹、山田 絢斗¹、高橋 寛¹、眞鍋 史乃^{1,2,3}
(¹ 星薬大薬、² 星薬大医薬品化学研究所、³ 東北大院薬)
- PA-54** **CDMBI を用いた有機溶媒中オキサゾリン化反応**
○山田 絢斗¹、眞鍋 史乃^{1,2,3}
(¹ 星薬大薬、² 星薬大医薬品化学研究所、³ 東北大院薬)
- PA-55** **ポリシアロ糖タンパク質 (PSGP) を用いたポリシアル酸修飾 O 型糖鎖構造の質量分析による解析条件検討**
○鈴木 魁¹、呉 迪^{2,3}、北島 健²、山川 奈緒^{2,4}、大本 敬之²、羽根 正弥^{1,2}、佐藤 ちひろ^{1,2}
(¹ 名大院・生命農学、² 名大・iGCORE、³ 名大・生物機能セ、⁴ リール大学)
- PA-56** **ヒトおよびマウス Dectin-1 による β -グルカン認識機構の比較解析**
○千葉 花子¹、眞鍋 法義¹、内藤 淳子²、西田 典永²、大野 尚仁³、山口 芳樹¹
(¹ 東北医薬大・薬、² 神鋼環境ソリューション、³ 東京薬大・薬)
- PA-57** **核磁気共鳴法を用いた糖鎖と水の相互作用様式の解明**
○平尾 宏太郎^{1,2}、森口 達也¹、石川 華¹、眞木 勇太^{1,2}、岡本 亮^{1,2}、梶原 康宏^{1,2}
(¹ 阪大院理、² 阪大院理 FRC)

- PA-58 核小体局在型 Neu4 とリボソームタンパク質との相互作用による c-Myc の安定化阻害機構**
○兵頭 駿希¹、後尾 勇輝²、二神 裕子²、小松 正治^{1,2}、塩崎 一弘^{1,2}
(¹ 鹿児島大院・連合農学・応用生命、² 鹿児島大・水・食品生命)
- PA-59 糖鎖受容体強制発現細胞を用いた糖鎖修飾金ナノ粒子の細胞内移行性評価**
○黒木 悠里¹、若尾 雅広¹、新地 浩之¹
(¹ 鹿児島大・院理工)
- PA-60 過硫酸化グリコサミノグリカンの構造と神経軸索伸長活性との相関性**
○七五三掛 桃¹、櫻井 寛人²、米野 雅大²、佐藤 一樹²、佐藤 聡²、和田 猛²、東 伸昭³、穠山 浩³、戸井田 敏彦⁴、東 恭平²
(¹ 東京理大院薬、² 東京理大薬、³ 星薬科大学薬、⁴ 千葉大予医セ)
- PA-61 膝がん細胞株 BxPC-3 はヒアルロン酸オリゴ糖と分泌型の高分子ヒアルロン酸を産生する**
○辻 一翔¹、渡辺 怜央¹、勝本 祥央¹、佐藤 一樹²、佐藤 聡²、米野 雅大²、和田 猛²、戸井田 敏彦³、東 恭平²
(¹ 東京理大院薬、² 東京理大薬、³ 千葉大予医セ)
- PA-62 ヒトミルクオリゴ糖の合成に関わる ST6GALNAC6 の解析**
○金原 慎逸^{1,2}、大野 藍香²、岡 拓二³、藤田 盛久²
(¹ 岐阜大院 自然科学技術研、² 糖鎖生命コア研究所、³ 崇城大学 生物生命学部)
- PA-63 代謝標識による EV 糖鎖編集とレクチン依存的取り込みの解析**
○佐藤 つきの¹、真鍋 良幸^{1,2,3}、樺山 一哉^{1,2,3}、深瀬 浩一^{1,2,3}
(¹ 阪大院理、² 阪大院理 FRC、³ 阪大 IRS)
- PA-64 Neu1 ノックアウトゼブラフィッシュを用いたシアリドーシスの視覚障害発症メカニズムの解析**
○川上 大智¹、池田 麻美¹、西 望花²、二神 裕子²、安樂 和彦^{1,3}、小松 正治^{1,2}、塩崎 一弘^{1,2}
(¹ 鹿児島大院・農林水産・食品創成、² 鹿児島大・水産・食品生命、³ 鹿児島大・水産・水産資源)

- PA-65** **BLI 法を用いたマトリグリカン鎖長依存的ラミニン結合の速度論的解析**
 ○宮本 廉¹、小寺 康太²、田口 遥斗³、田村 敬裕²、望月 楽斗⁴、大野 詩歩¹、
 真鍋 法義¹、田村 純一^{2,3,4}、山口 芳樹¹
 (¹ 東北医薬大・分生研・糖鎖構造生物学、² 鳥取大院・連大農、³ 鳥取大院・持社創生農、
⁴ 鳥取大院・生命環境農)
- PA-66** **ラジカル反応による C-グリコシドを有する擬糖ヌクレオチドの立体選択的な合成**
 ○藤原 亘汰¹、山村 初雄¹、宮川 淳¹
 (¹ 名工大院工)
- PA-67** **異種植物発現系を用いた組換え型チョウセンアサガオレクチンの生産**
 ○金 聖煥¹、坂本 光¹、三浦 謙治²、小栗 秀¹
 (¹ 東農大・院生物産業、² 筑波大・生命環境)
- PA-68** **N 結合型コア糖鎖のアセトアミド基を基軸とした Endo-CC 基質認識特性の理解**
 ○田島 直也¹、旅川 広大¹、田代 啓悟²、栗原 大輝³、廣瀬 光了¹、戸谷 希一郎¹
 (¹ 成蹊大・理工、² 静岡大院・統合科学技術、³ OICI, 糖鎖オンコロジー)
- PA-69** **N-グリカンに作用するビフィズス菌由来 β -N-アセチルグルコサミニダーゼ**
 ○Liang An-Chi¹、高田 紘翠^{1,2}、飯田 理世¹、野口 真人³、木村 郁夫¹、加藤 紀彦¹、
 片山 高嶺¹
 (¹ 京大院・生命、² 大阪公立大・農、³ 糖鎖工学研)
- PA-70** **EDEM 類によるシグナル糖鎖産生の選択的制御を目指したチオグリコシドの開発**
 ○浅山 萌木¹、海瀬 秀¹、新田 恭平¹、古山 りさ¹、栗原 大輝²、廣瀬 光了¹、
 戸谷 希一郎¹
 (¹ 成蹊大・理工、² 大阪国際がんセンター)
- PA-71** **腸球菌多糖抗原に対する ELISA の樹立とマルチ糖鎖バイオマーカーを用いた肺癌
 ハイリスク群の同定**
 ○錦織 果歩¹、上村 理紗¹、左近 太佑¹、緒方 あすか¹、祝迫 真樹¹、下坂 宗史¹、
 高松 真二¹、近藤 純平¹、鎌田 佳宏^{1,2}、三善 英知¹
 (¹ 阪大院医・生体病態情報科学、² 阪大院医・生体物理工学)

- PA-72 **金ナノ粒子表面の糖鎖構造が細胞結合性に及ぼす影響**
○戸次 航¹、赤池 駿弥¹、若尾 雅広¹、新地 浩之¹
(¹ 鹿児島大・院理工)
- PA-73 **β -マンノサミンの構築に向けた 2,6-ラクタムの合成研究**
○田畑 光唯¹、田尻 大陸¹、龍田 真帆¹、佐々木 要¹
(¹ 東邦大理)
- PA-74 **脱離基の中の官能基によるチオグリコシド供与体の反応制御**
○中尾 真菜¹、江澤 あやめ¹、木村 智文¹、西田 芳弘¹、土肥 博史¹
(¹ 千葉大院園芸)
- PA-75 **ヒアルロン酸の分子的絡み合いの減少が皮膚物性の加齢変化を誘導する**
○伊藤 健太郎¹、杉山 由紀¹、江連 智暢¹
(¹ 株式会社 資生堂 みらい開発研究所)
- PA-76 **赤血球凝集性・溶血性二機能性レクチンの機能制御と孔形成機構の解明**
○高橋 優希¹、郷田 秀一郎¹
(¹ 創価大院理工)
- PE-08 **無保護糖の 1 位活性化を利用した糖ヌクレオチドの簡便合成法**
○宮川 淳¹、神川 早希¹、尾形 さくら¹、山村 初雄¹
(¹ 名工大院工)
- PE-09 **シアリダーゼ Neu1 は光感受性および概日リズムを制御する**
○池田 麻美¹、川上 大智¹、辻 すもも¹、西 望花²、二神 裕子²、小松 正治^{1,2}、
塩崎 一弘^{1,2}
(¹ 鹿児島大院・農林水産、² 鹿児島大・水)
- PE-10 **腎臓の血圧制御装置に関わる細胞の加齢に伴う糖鎖変化**
○板倉 陽子¹、長谷川 康子²、石渡 俊行²、佐々木 紀彦¹、豊田 雅士¹
(¹ 都健康長寿医セ研・加齢変容、² 都健康長寿医セ研・老年病理)

- PE-11 魚卵レクチン CSL2 のクライオ電子顕微鏡による 24 量体超高次構造の解明**
○小川 智久¹、王 正光¹、後藤 楓²、次田 篤史²、楊 芷茵¹、Daoudi Khadija¹、
日高 將文¹、横山 武司²、二井 勇人¹、田中 良和²
(¹ 東北大院農、² 東北大院生命)
- PG-29 乳癌における O 型糖鎖転移酵素 GALNT6 の発現動態と組織型との関連**
○高橋 一人¹、宇月 美和¹、橋本 優子²、大竹 徹³、北爪 しのぶ¹
(¹ 福島医大・保健科学、² 福島医大・病理、³ 福島医大・乳腺外科)
- PG-30 ARV1 はグリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) の生合成を開始する酵素の構成要素である**
○今西 香絵¹、村上 良子¹、梅下 沙織¹
(¹ 大阪大微生物病研究所)
- PG-31 食品由来糖ペプチドの生物学的機能の解明**
○佐野 栄宏¹、大坪 和明²
(¹ 都立産技研、² 熊大院生命科)
- PG-32 2 位にアジド基を有する単糖誘導体を基質とする Staudinger Ligation 反応の検討**
○鈴木 達哉¹、網野 佳奈¹、立花 萌々香¹、森内 小春¹、秋元 友花¹、櫛引 遥¹、
水野 遥¹、吉村 祥¹、植木 章晴¹
(¹ 青森大薬)
- PG-33 硫黄含有インドールアルカロイド Isatisindigoticanine H の全合成**
○小島 勝¹、藤倉 綾夏¹、細山 迅¹、太田 光一郎¹、吉澤 逸人¹、中村 豊¹
(¹ 新潟薬大応用生命科学)
- PG-34 プロパルギル化カラギーナンの合成と機能性カラギーナン群の創生**
○島田 知明¹、黒須 俊治²、長谷川 輝明^{2,3}
(¹ 東洋大院生命、² 東洋大バイオナノ、³ 東洋大生命)
- PG-35 子宮体がんにおける Fucosyltransferase 8 の発現とその悪性化に関わる基礎的検討**
○柴田 俊章¹、磯村 直美¹、川岡 大才¹、東堂 祐介¹、伊藤 敏谷¹、成味 恵¹、
松家 まどか¹、村上 浩雄¹、安部 正和¹、伊東 宏晃¹、小谷 友美¹
(¹ 浜松医大 産婦人科)

- PG-36** ベロ毒素の多価糖鎖認識における分子相互作用の理論解析
○能登 香¹
(¹ 北里大 一般教育)
- PG-37** マウス脳組織由来エクソソームのスフィンゴ糖脂質組成
○湯山 耕平^{1,2}、孫 慧^{1,2}、花松 久寿³、古川 潤一³
(¹ 北大先端生命、² 北大産地機構、³ 名大 iGCORE)
- PG-38** リーシュマニア原虫に見られる 2 糖 1-リン酸繰り返し構造の α 選択的合成法の開発
川戸 一輝¹、○佐藤 一樹¹、和田 猛¹
(¹ 東京理科大学)
- PG-39** 膀胱がん細胞に対する微小管重合阻害剤修飾 SAL とパドセブの抗腫瘍効果の比較検討
○菅原 栄紀^{1,2}、諸角 謙人²、菊地 洸太郎¹、立田 岳生¹、海法 康裕²、細野 雅祐¹
(¹ 東北医薬大 分子生体膜研究所 分子認識学、² 東北医薬大 医学部 泌尿器科学講座)
- PG-40** 糖鎖生合成に関与する酵素遺伝子の予測データベースの開発
○井上 和也¹、田中 悠¹、竹松 弘²、内藤 裕子²、木下 聖子¹
(¹ 創価大院・理工、² 藤田医科大)
- PG-41** ヒト iPS 細胞のヘパラン硫酸の機能
○小林 孝¹、渡辺 秀人¹
(¹ 愛知医大・分医研)
- PG-42** 硫酸化ガラクトース - ガラクトース間相互作用における 4 位ヒドロキシ基の役割
○川村 昌弘¹、董 加煜¹、助川 修太郎¹、清水 文一²、長谷川 輝明^{2,3}
(¹ 東洋大学院生命、² 東洋大生命、³ 東洋大バイオナノ)
- PG-43** 血管内皮型アミロイド β 前駆体タンパク質の細胞内輸送と糖鎖付加の調節機構の解析
○井上 拓朗¹
(¹ 福島医大 保健科学研究科)
- PG-44** フィッシャー症候群に関する抗糖鎖抗体の結合特異性解析
○早川 開都¹、羽根 正弥^{1,2}、呉 迪^{1,2,3}、北島 健²、佐藤 ちひろ^{1,2}
(¹ 名大院・生命農学、² 名大・iGCORE、³ 名大・生物機能セ)

- PG-45 アミノ基標識試薬を用いた O- 型糖鎖解析技術の開発**
○山田 佳太¹
(¹ 大阪大谷大学薬学部)
- PG-46 アロシダーゼ活性を持つ酵素の精製**
○中北 慎一¹、中北 ゆかり¹、竹川 薫²、平林 淳¹
(¹ 香川大・医・総合生命、² 九州大・農)
- PG-47 脱脂卵黄からの効率的なハイマンノース型糖鎖アスパラギンの単離法の検討**
○赤山 泰斗¹、和泉 雅之¹
(¹ 高知大理工)
- PG-48 Annexin A1 標的 D-peptide MMAE 複合体による腫瘍血管標的的化学療法**
○米山 徹¹、野中 元裕²、米山 美穂子³、尾崎 魁⁴、久保田 優花⁴、田中 龍馬⁴、
大山力^{4,5}、畠山 真吾⁴
(¹ 弘前大・院・医・糖鎖工学、² 京大院 医・人間健康科学・分生基礎医療、
³ 鷹揚郷・癌免疫生物化学、⁴ 弘前大・院・医・泌尿器科学、
⁵ 弘前大・院・医・先進移植再生医学)
- PG-49 動的コンビケムによるミニマム糖クラスターの構築と糖鎖間相互作用解析**
○三林 弓夏¹、荒川 直由樹²、河田 裕介²、川村 昌弘¹、清水 文一²、長谷川 輝明^{2,3}
(¹ 東洋大院生命、² 東洋大生命、³ 東洋大バイオナノ)
- PG-50 母体-胎児組織間を移行する血中糖タンパク質**
○赤間 智也¹、阿部 学²、宮崎 達雄³、石川 美佳⁴、谷垣 伸治⁴、森定 徹⁴、鈴木 淳⁴、
大西 宏明⁵、小林 陽一⁴、中邨 智之¹
(¹ 関西医大・薬理学、² 新潟大学脳研究所・モデル動物開発、
³ 新潟薬科大・応用生命科学・生体分子化学、⁴ 杏林大医・産科婦人科、
⁵ 杏林大医・臨床検査医学)
- PG-51 TP53 変異卵巣癌において p53 凝集体形成は CL40 反応性糖鎖の発現に影響する**
○池崎 みどり¹、西辻 和親^{1,2}、岩橋 尚幸³、西岡 香穂³、藤野 めぐみ³、藤本 正数⁴、
森 乃絢¹、井篁 一彦³、内村 健治²、井原 義人¹
(¹ 和医大・医・生化、² CNRS・リール大・糖鎖構造機能研、³ 和医大・医・産婦、
⁴ 京大・医・附属病院・病理診断科)

- PG-52 アガロースゲルビーズとマイクロ流路を用いた Gg3-GM3 間相互作用解析**
○中村 駿介¹、長谷川 輝明^{2,3}
(¹ 東洋大院生命、² 東洋大生命、³ 東洋大バイオナノ)
- PG-53 ウロセプシスにおける血清免疫グロブリン N 型糖鎖の血管内皮グリコカリックス保護効果**
○藤田 尚紀¹、米山 徹¹、飛澤 悠葵²、百田 匡毅¹、吉川 和暁³、伊藤 弘之⁴、大山 力¹、畠山 真吾¹
(¹ 弘前大学 泌尿器科、² 岐阜大学泌尿器科、³ 青森市民病院泌尿器科、⁴ 青森労災病院泌尿器科)
- PG-54 無溶媒グリコシル化反応を用いた 2-フェニルエチル ヘキソピラノシド誘導体の合成研究**
小島 勝¹、○長谷川 未空¹、平林 あこ¹、鈴木 将也¹、山田 理緒¹、中村 豊¹
(¹ 新潟薬大・応用生命科学)
- PG-55 磁性粒子による N- グライコプロテオミクス試料調製の検討**
○半澤 健¹、岡本 三紀²、宮本 泰豪^{2,3}、中嶋 和紀¹
(¹ 岐阜大・iGCORE、² 大阪国際がんセ・研究所、³ 大阪国際がんセ・臨床検査)
- PG-56 *Vibrio artabrorum* T1-5 由来新規アルギン酸分解酵素の特性解析**
○能戸 章伍¹、高梨 友椰²
(¹ 東洋大院 食環境科学研究科、² 東洋大学 食環境科学科)
- PG-57 scGlycoAtlas : Droplet-Based scGR-seq データに基づく単一細胞糖鎖プロファイルの Web 可視化プラットフォーム**
○Lee Jeonggi¹、舘野 浩章²、Keisham Sunanda²、Anh Dinh Xuan Tuan²、小高 陽樹²
(¹ 創価大院理工、木下研究室、² 産総研、舘野研究所)

JSCR Newsletter (日本糖質学会会報) Vol. 28, 号外

2025年9月8日 発行

編集兼発行 日本糖質学会

会長 北島 健

〒103-0014 中央区日本橋蛸殻町1-38-12

油商会館3F

TEL: 03-5642-3700

FAX: 03-5642-3714

JSCR Newsletter 編集委員会

加藤 晃一

蟹江 治